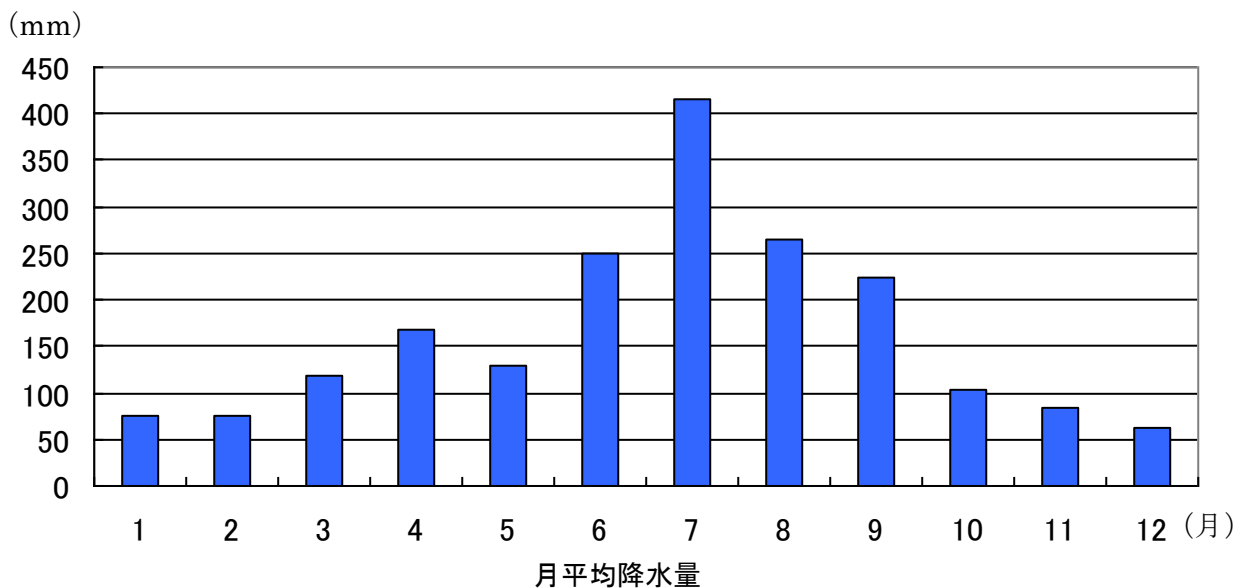
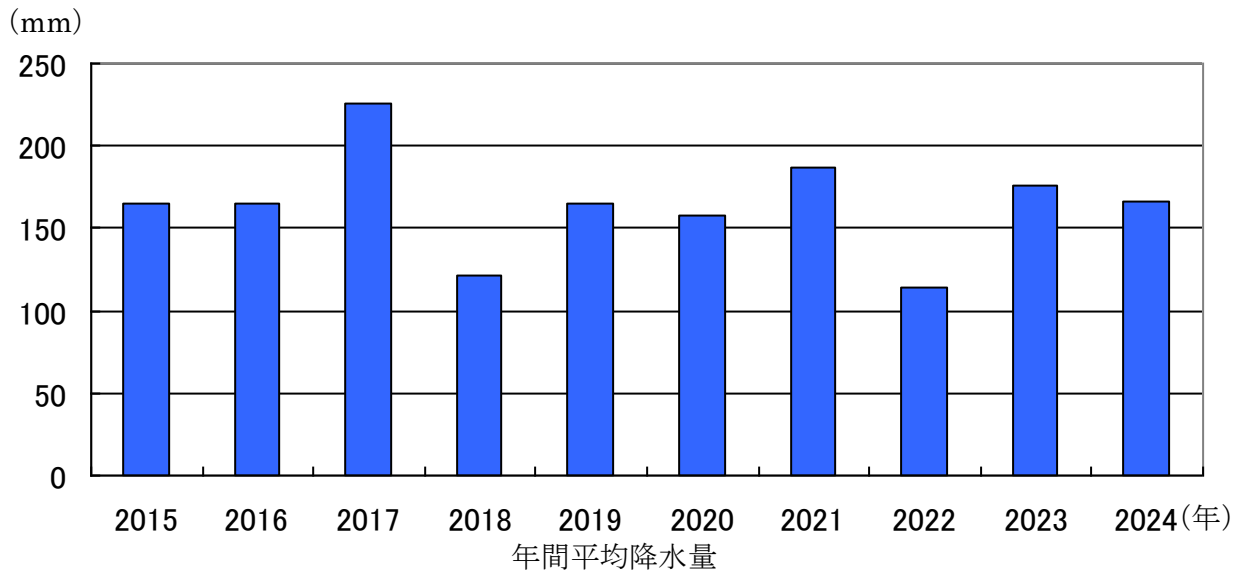


《 気象概況（降水量） 》 資料 1.3.1 (1)

(単位:mm)

年	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計	平均
2015	H27	59.5	81.5	131.5	75.0	118.0	104.0	339.5	639.0	127.5	130.0	122.0	58.5	1986.0	165.5
2016	H28	95.5	43.0	105.0	281.0	125.5	227.0	269.5	329.5	186.5	88.5	106.5	120.5	1978.0	164.8
2017	H29	102.5	119.5	84.0	267.5	231.5	446.0	324.5	98.5	631.5	152.0	135.0	109.5	2702.0	225.2
2018	H30	54.5	51.5	44.0	200.5	94.0	154.5	199.5	153.0	180.0	271.5	32.5	17.0	1452.5	121.0
2019	R1	80.0	67.5	181.5	125.0	105.0	282.5	673.5	96.5	203.5	60.0	44.5	62.0	1981.5	165.1
2020	R2	40.5	56.0	112.0	104.5	43.0	160.0	449.0	559.0	129.5	110.5	25.5	100.5	1890.0	157.5
2021	R3	125.5	80.0	149.5	96.0	158.5	334.5	790.0	72.0	323.0	55.0	25.0	37.5	2246.5	187.2
2022	R4	41.5	23.5	128.5	156.5	39.0	177.0	210.5	290.0	202.5	45.0	24.5	33.5	1372.0	114.3
2023	R5	92.5	52.0	93.0	177.5	255.5	354	660	230.5	80.0	19.0	49.0	51.0	2114.0	176.2
2024	R6	71.5	187.0	153.0	192.0	129.0	266.5	236.0	174.5	170.0	108.5	281.0	31.5	2000.5	166.7
平均		76.4	76.2	118.2	167.6	129.9	250.6	415.2	264.3	223.4	104.0	84.6	62.2	1972.3	164.4

(2015年～2024年気象庁)

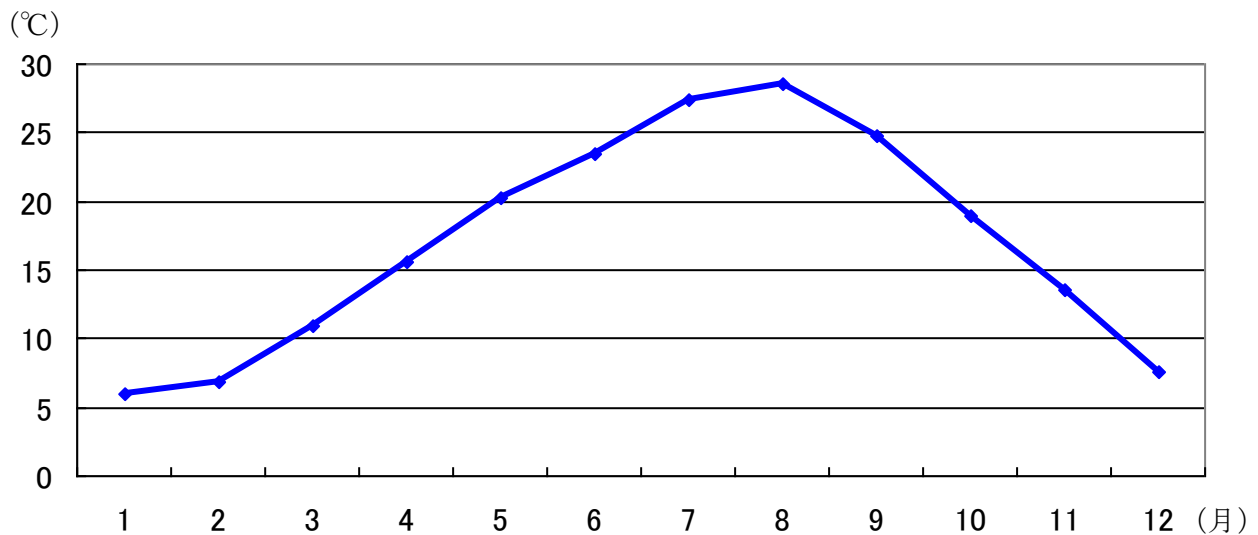
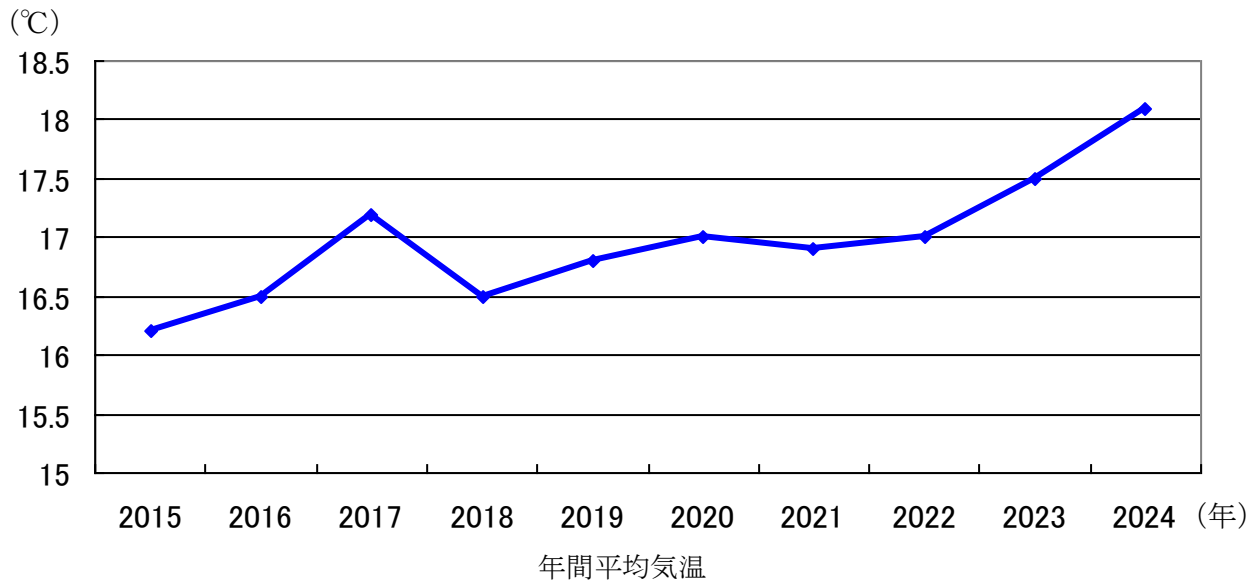


《 気象概況（気温） 》 資料 1.3.1 (2)

(単位：℃)

年	月	月												平均
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
2015	H27	6.0	6.7	10.4	14.7	19.8	22.3	26.6	26.0	23.5	18.6	13.2	6.0	16.2
2016	H28	6.6	6.3	10.1	15.6	20.3	22.4	25.9	26.9	22.6	17.6	15.1	9.0	16.5
2017	H29	5.5	6.5	10.6	16.4	20.6	23.4	27.7	28.6	24.6	20.6	13.2	9.0	17.2
2018	H30	5.8	6.7	9.2	15.8	20.3	22.8	28.6	28.7	23.4	19.0	12.0	5.7	16.5
2019	R1	4.2	4.7	11.2	16.4	20.3	23.4	28.5	29.5	23.9	17.8	12.7	8.8	16.8
2020	R2	6.3	8.2	10.7	14.8	20.5	23.2	26.0	27.5	25.4	19.6	13.3	8.8	17.0
2021	R3	8.1	8.3	11.5	13.1	20.0	24.7	25.0	29.4	23.7	18.3	13.8	6.7	16.9
2022	R4	5.3	4.9	11.8	15.8	20.1	24.3	28.4	28.8	25.2	18.5	14.9	6.0	17.0
2023	R5	5.7	7.8	12.6	16.1	19.9	23.9	28.1	29.1	26.2	18.2	13.5	8.4	17.5
2024	R6	6.7	8.9	10.6	17.4	19.8	23.5	29.1	30.0	28.1	21.3	14.6	7.2	18.1
平均		6.0	6.7	10.8	15.4	20.1	23.4	27.5	28.5	24.6	18.9	13.3	7.4	17.0

(2015年～2024年 気象庁)



月平均気温

《 気象概要（風向、風速） 》 資料 1.3.1 (3)

風速

(単位：m/s)

年	月	風速 (m/s)												
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	平均
2015	H27	2.1	2.0	2.1	2.3	2.0	1.7	1.9	1.7	1.7	1.6	1.5	1.6	1.9
2016	H28	1.8	2.1	2.0	1.9	2.0	1.7	1.9	1.8	1.6	1.5	1.6	2.0	1.8
2017	H29	2.0	2.3	1.9	2.3	2.0	1.8	1.9	2.0	1.6	1.8	1.7	2.1	2.0
2018	H30	2.1	2.0	2.3	2.2	2.2	2.0	1.9	2.0	1.6	1.6	1.3	1.8	1.9
2019	R1	1.7	1.8	2.1	2.1	2.0	2.0	1.8	1.8	1.8	1.7	1.4	1.7	1.8
2020	R2	1.7	2.0	2.2	2.3	2.0	2.0	1.9	1.9	1.9	1.7	1.5	1.8	1.9
2021	R3	2.0	2.4	2.1	2.2	2.1	2.0	2.0	1.9	1.7	1.6	1.6	2.3	2.0
2022	R4	1.7	2.2	2.1	2.1	1.8	2.1	1.9	1.8	2.2	1.6	1.5	2.0	1.9
2023	R5	2.2	1.9	2.1	2.3	2.2	1.9	2.0	2.1	1.7	1.7	2.0	2.1	2.0
2024	R6	2.0	1.9	2.3	2.0	2.2	2.0	2.2	2.1	1.7	1.7	1.7	2.0	2.0
平均		1.9	2.1	2.1	2.2	2.1	1.9	1.9	1.9	1.8	1.7	1.6	1.9	1.9

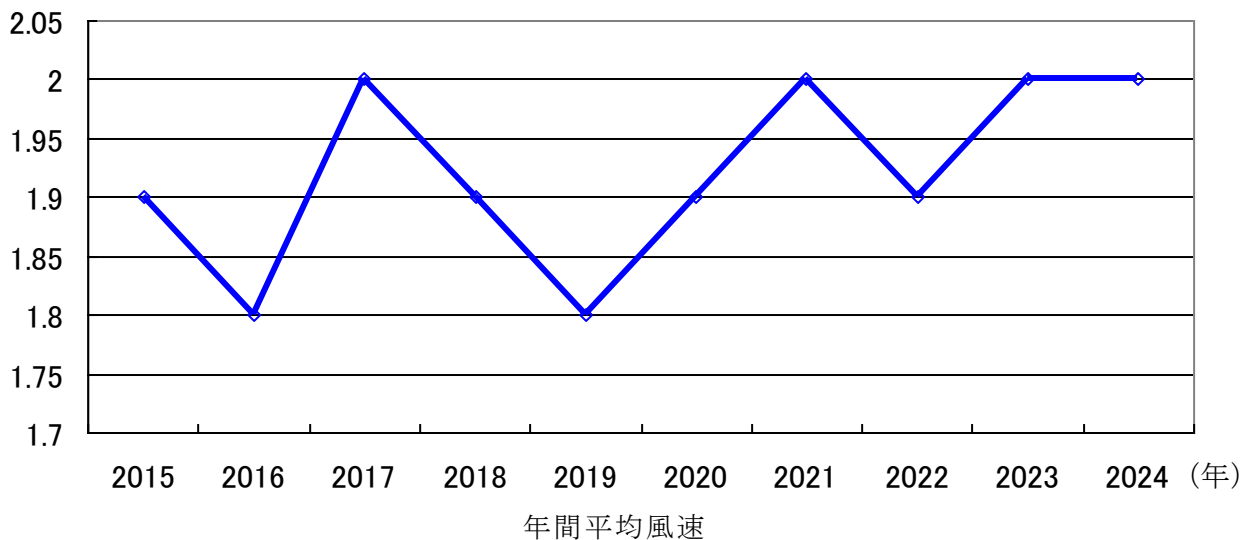
(2015年～2024年気象庁)

風向

年	月	風向											
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
2015	H27	西	西南西	西南西	南	西南西	西南西	南東	北東	西北西	西	西	西南西
2016	H28	西南西	西南西	西北西	西南西	西南西	南	南東	西	北北西	南	北西	西南西
2017	H29	西南西	西	西	北西	東南東	西南西	西南西	東北東	北西	北西	西北西	西
2018	H30	東	西	東北東	東	東	東	北西	東	南南西	南南西	東北東	東北東
2019	R1	東北東	西北西	西	西北西	東北東	西北西	東南東	東	東	西北西	東北東	東
2020	R2	東北東	東北東	西	北西	東	東	東南東	東南東	南南西	北西	東北東	東北東
2021	R3	東北東	東北東	西北西	東	東	西北西	南東	南南東	南東	東北東	東北東	東北東
2022	R4	東北東	西北西	東北東	西北西	西北西	南東	東	東	西北西	南南西	東	東
2023	R5	東	東	東	東南東	東	南南東	南南東	南南東	南南東	東	東	東
2024	R6	東	西北西	西北西	北西	西北西	東	南南東	西北西	南南東	西北西	東	東

(2015年～2024年 気象庁)

(m/s)



《 行政区別人口及び世帯数 》

資料 1.3.2 (1)

□ : 人口密度 10,000 人以上

番号	校区 番号1	小学校区	行政区 番号	行政区	面積 (km ²)	人口 (人)			世帯数	平均世帯数 (人/世帯)	人口密度 (人/km ²)
						男性	女性	計			
1	1	天拝	5	天拝坂	0.92	1,171	1,311	2,482	1,063	2.33	2,698
2	1	天拝	10	都府楼団地	0.01	30	48	78	36	2.17	7,800
3	1	天拝	11	杉塚	0.55	650	739	1,389	614	2.26	2,525
4	1	天拝	12	塔原	0.72	1,021	1,019	2,040	871	2.34	2,833
5	2	二日市	13	六反	0.16	947	982	1,929	996	1.94	12,056
6	2	二日市	14	本町	0.2	631	733	1,364	821	1.66	6,820
7	2	二日市	15	入舟	0.01	126	146	272	135	2.01	27,200
8	9	二日市北	16	宮田町	0.12	716	762	1,478	790	1.87	12,317
9	9	二日市北	17	京町	0.53	2,028	2,177	4,205	2,231	1.88	7,934
10	9	二日市北	18	曙町	0.46	1,235	1,389	2,624	1,170	2.24	5,704
11	9	二日市北	19	松ヶ浦	0.03	363	356	719	279	2.58	23,967
12	3	二日市東	20	紫	0.27	1,073	1,271	2,344	1,292	1.81	8,681
13	2	二日市	21	中央	0.04	181	261	442	288	1.53	11,050
14	2	二日市	22	栄町	0.03	283	282	565	299	1.89	18,833
15	2	二日市	23	昭和	0.04	192	232	424	231	1.84	10,600
16	2	二日市	24	次田	0.1	389	494	883	484	1.82	8,830
17	2	二日市	25	大坪	0.11	617	691	1,308	548	2.39	11,891
18	1	天拝	26	大門	1.11	217	252	469	216	2.17	423
19	2	二日市	27	鳥居	0.05	484	521	1,005	479	2.10	20,100
20	3	二日市東	28	天神	0.04	148	173	321	196	1.64	8,025
21	3	二日市東	29	旭町	0.04	120	137	257	179	1.44	6,425
22	3	二日市東	30	東新町	0.21	705	747	1,452	721	2.01	6,914
23	3	二日市東	31	紫ヶ丘	0.19	814	908	1,722	760	2.27	9,063
24	2 3	二日市 二日市東	32	東町	0.22	588	663	1,251	619	2.02	5,686
25	2	二日市	33	湯町	0.29	1,816	2,123	3,939	1,969	2.00	13,583
26	2	二日市	34	武蔵	1.12	490	454	944	422	2.24	843
27	2	二日市	35	上古賀	0.65	1,059	1,139	2,198	1,005	2.19	3,382
28	3	二日市東	36	石崎	0.21	1,258	1,328	2,586	1,142	2.26	12,314
29	3	二日市東	37	若葉団地	0.13	863	1,004	1,867	834	2.24	14,362
30	3	二日市東	38	中原団地	0.1	412	443	855	389	2.20	8,550
31	3	二日市東	39	針摺	0.88	426	439	865	358	2.42	5,043
32	3	二日市東	6	針摺東		1,662	1,911	3,573	1,748	2.04	
33	3	二日市東	40	俗明院	0.54	1,559	1,689	3,248	1,512	2.15	6,015
34	3	二日市東	82	朝倉街道団地	0.09	306	390	696	378	1.84	7,733
35	8	山口	84	むさしヶ丘	0.42	1,069	1,177	2,246	941	2.39	5,348
36	6	阿志岐	41	天山	1.32	313	301	614	323	1.90	465
37	6	阿志岐	58	牛島	0.54	517	621	1,138	491	2.32	2,107
38	8	山口	42	平等寺	8.95	128	109	237	177	1.34	26
39	8	山口	43	山口	8.8	362	397	759	365	2.08	86
40	8	山口	44	萩原	2.49	147	152	299	125	2.39	120
41	8	山口	45	古賀	1.77	449	495	944	440	2.15	533

《 行政区別人口及び世帯数 》 資料 1.3.2 (2)

番号	校区 番号1	小学校区	行政区 番号	行政区	面積 (km ²)	人口(人)			世帯数	平均世帯数 (人/世帯)	人口密度 (人/km ²)
						男性	女性	計			
42	8	山口	46	立明寺	0.48	374	420	794	354	2.24	1,654
43	5	吉木	47	柚須原	4.26	15	23	38	22	1.73	9
44	5	吉木	48	香園	3.71	9	14	23	10	2.30	6
45	5	吉木	49	本道寺	3.05	47	67	114	50	2.28	37
46	5	吉木	50	大石	1.74	83	90	173	82	2.11	99
47	5	吉木	51	原	1.27	422	460	882	376	2.35	694
48	5	吉木	52	西吉木	1.16	352	401	753	314	2.40	649
49	5	吉木	53	東吉木	2.94	753	754	1,507	666	2.26	513
50	6	阿志岐	54	上阿志岐東	1.01	53	59	112	52	2.15	111
51	6	阿志岐	55	上阿志岐西	0.4	632	678	1,310	572	2.29	3,275
52	6	阿志岐	56	中阿志岐	1.35	85	85	170	73	2.33	126
53	6	阿志岐	57	下阿志岐	1.74	210	246	456	203	2.25	262
54	5	吉木	83	宮の森	0.19	548	637	1,185	549	2.16	6,237
55	5	吉木	85	コノ場団地	0.06	128	142	270	127	2.13	4,500
56	5	吉木	86	みかさ台	0.13	425	481	906	424	2.14	6,969
57	7	山家	59	山家1区	3.5	30	32	62	36	1.72	18
58	7	山家	60	山家2区	4.61	21	19	40	22	1.82	9
59	7	山家	61	山家3区	1.99	165	175	340	151	2.25	171
60	7	山家	62	山家中央区	3.01	480	505	985	427	2.31	327
61	7	山家	64	山家6区	0.78	212	199	411	165	2.49	527
62	7	山家	65	山家7区	0.19	94	103	197	101	1.95	1,037
63	7	山家	66	山家8区	0.87	56	72	128	65	1.97	147
64	7	山家	67	山家9区	0.37	225	214	439	200	2.20	1,186
65	10	原田	68	原田	3.71	2,964	3,077	6,041	2,515	2.40	1,628
66	4	筑紫	69	城山	0.95	53	58	111	48	2.31	117
67	4	筑紫	70	筑紫	1.19	2,693	2,871	5,564	2,215	2.51	4,676
68	4	筑紫	71	若江	0.33	929	999	1,928	723	2.67	5,842
69	11	筑紫東	72	隈	0.38	111	113	224	92	2.43	589
70	11	筑紫東	73	西小田	0.69	160	157	317	139	2.28	459
71	11	筑紫東	74	馬市	0.61	92	106	198	126	1.57	325
72	4	筑紫	75	下見一	0.53	509	532	1,041	457	2.28	1,964
73	4	筑紫	76	美咲	0.49	158	190	348	196	1.78	710
74	4	筑紫	77	岡田	0.74	937	980	1,917	784	2.45	2,591
75	4	筑紫	78	諸田	0.53	80	83	163	77	2.12	308
76	4	筑紫	79	常松	0.31	205	223	428	214	2.00	1,381
77	4 3	筑紫 二日市東	80	永岡	1.74	1,686	1,824	3,510	1,723	2.04	2,017
78	4	筑紫	81	桜台	0.26	773	935	1,708	802	2.13	6,569
79	4	筑紫	1	筑紫駅前通	0.22	1,067	1,259	2,326	1,053	2.21	10,573
80	10	原田	4	美しが丘南	0.78	2,224	2,383	4,607	1,788	2.58	5,906
81	11	筑紫東	2	光が丘	0.53	1,615	1,671	3,286	1,398	2.35	6,200
82	11	筑紫東	3	美しが丘北	0.47	1,492	1,626	3,118	1,296	2.41	6,634
		合計			87.78	50,732	55,429	106,161	48,624	2.18	1,210

令和7年3月31日
参考資料：住民基本台帳

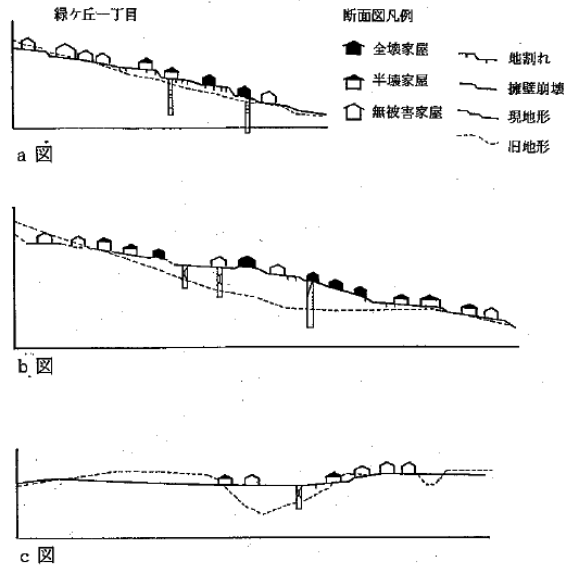
《主要道路》 資料 1.3.3

番号	ルート 番号	名称	種別	管理	区間		総延長 県内 (km)	市内 延長 (km)
					起点	終点		
1		九州自動車道	高速道路	西日本高速道路	門司区黒川	大牟田市	126.38	-
2	200	一般国道200号	一般国道	福岡県	八幡西区熊手	筑紫野市	12.59	8.87
	386	一般国道386号	一般国道	福岡県	朝倉郡朝倉町	筑紫野市	33.23	1.97
3	3	一般国道3号線	一般国道	国土交通省	北九州市門司区	筑紫野市	124.47	4.1
4	7	筑紫野インター線	主要地方道	福岡県	筑紫野市	筑紫野市	2.24	2.24
5	17	久留米基山筑紫野線	主要地方道	福岡県	久留米市	筑紫野市	8.30	-
6	31	福岡筑紫野線	主要地方道	福岡県	福岡市中央区	筑紫野市	19	4.6
7	35	筑紫野古賀線	主要地方道	福岡県	筑紫野市	古賀市	31.76	1.17
8	53	久留米筑紫野線	主要地方道	福岡県	久留米市	筑紫野市	23.55	6.6
9	65	筑紫野筑穂線	主要地方道	福岡県	筑紫野市	嘉穂郡筑穂町	19.22	9.33
10	76	筑紫野大宰府線	主要地方道	福岡県	筑紫野市	太宰府市	10.13	8.48
11	77	筑紫野三輪線	主要地方道	福岡県	筑紫野市	朝倉郡筑前町	9.41	0.77
12	112	福岡日田線	一般県道	福岡県	福岡市	日田市	51.24	11.81
13	137	基山停車場平等寺・ 筑紫野線	一般県道	福岡県	筑紫野市	筑紫野市	9.88	9.88
14	505	板付牛頸筑紫野線	一般県道	福岡県	福岡市	筑紫野市	13.57	1.55
15	520	二日市停車場線	一般県道	福岡県	筑紫野市	筑紫野市	0.14	0.14
16	581	観世音寺二日市線	一般県道	福岡県	太宰府市	筑紫野市	1.62	0.49
17	582	山口原田線	一般県道	福岡県	筑紫野市	筑紫野市	3.51	3.51
18	593	久光西小田線	一般県道	福岡県	朝倉郡筑前町	筑紫野市	6.53	0.49
19	595	山家西小田線	一般県道	福岡県	筑紫野市	筑紫野市	12.85	1.3
20	601	平等寺那珂川線	一般県道	福岡県	筑紫野市	那珂川町	10.39	3.06
21	603	原田停車場線	一般県道	福岡県	筑紫野市	小郡市	2.52	1.37
22		鳥栖筑紫野有料道路	有料道路	福岡県道路公社	鳥栖市	筑紫野市	13.50	5.46
23		冷水有料道路	有料道路	福岡県道路公社	朝倉郡筑前町	筑紫野市	8.89	6.58
							554.92	93.77

平成24年現在

《 土地利用変遷 》 資料 1.3.4 (1)

1978年宮城県沖地震の際に宅地の地形断面と被害状況を示したものである。支持力の弱い盛土した部分では、a図のように地すべり的な移動による家屋被害が見られたり、b図のように厚い盛土の不同沈下による被害などが発生した。又c図のように切土と盛土の境界部の地盤の震動差による被害も発生した。宅地造成地では現地形と旧地形とを比較することにより、家屋の被害危険をある程度把握することができる。



筑紫野市の近年の大規模な地形の改変状況を抽出してみると表1 主な地形改変一覧の通りであり、これらの大規模改変地を(1)(2)の危険状況について区分した。

- (1)人工改変等による危険地域の拡大状況 危険状況 A
- (2)軟弱地盤、崩壊危険区域等の危険地域への住宅地域等の拡大.. 危険状況 B

《 表1 主な地形改変一覧 》

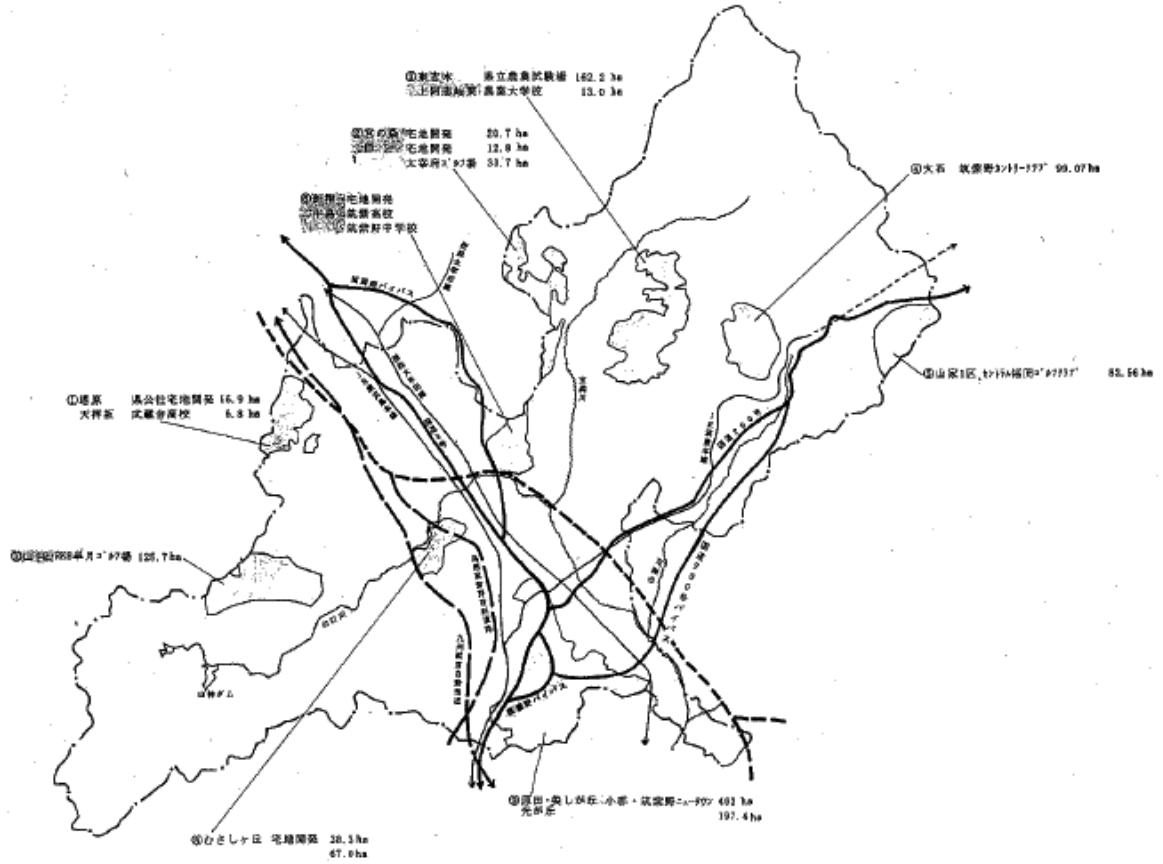
地区名	開発内容	開発面積 (ha)	開発完了年	危険状況
①塔原 天拝坂	県公社宅地開発 武蔵台高校	16.9 6.8	- H 1	A:危険地域の拡大 盛土及び切盛整地面
②宮の森 原	宅地開発 宅地開発 太宰府ゴルフ場	20.7 12.8 33.7	S48 S54 S41	A:危険地域の拡大 盛土及び切盛整地面
③東吉木 上阿志岐東	県立農業試験場 農業大学校	162.2 13.0	S57	B:土石流危険地域への拡大
④山家2区	筑紫野カントリークラブ	99.07	S49	
⑤山家1区	セントラル福岡ゴルフクラブ	82.56	S49	
⑥針摺 牛島	宅地開発 筑紫高校 筑紫野中学校			B:軟弱地盤への拡大
⑦山口	RKB皐月ゴルフ場	125.7	S58	
⑧むさしヶ丘	宅地開発	38.3 67.0	S48	A:危険地域の拡大 盛土及び切盛整地面
⑨原田・美しが丘 光が丘	小郡・筑紫野ニュータウン	403 197.4	H12 H 3	A:危険地域の拡大 盛土及び切盛整地面

■ 事例表示 (新旧地形図比較)

資料:筑紫野市国土利用計画(H2.6)

参考資料:筑紫野市地域防災計画 平成18年

《 図1 土地利用の変遷図 》 資料 1.3.4 (2)



参考資料：筑紫野市地域防災計画 平成18年

(1)人工改変等による危険地域の拡大状況

②宮の森・原地区.....宅地開発、太宰府ゴルフ場

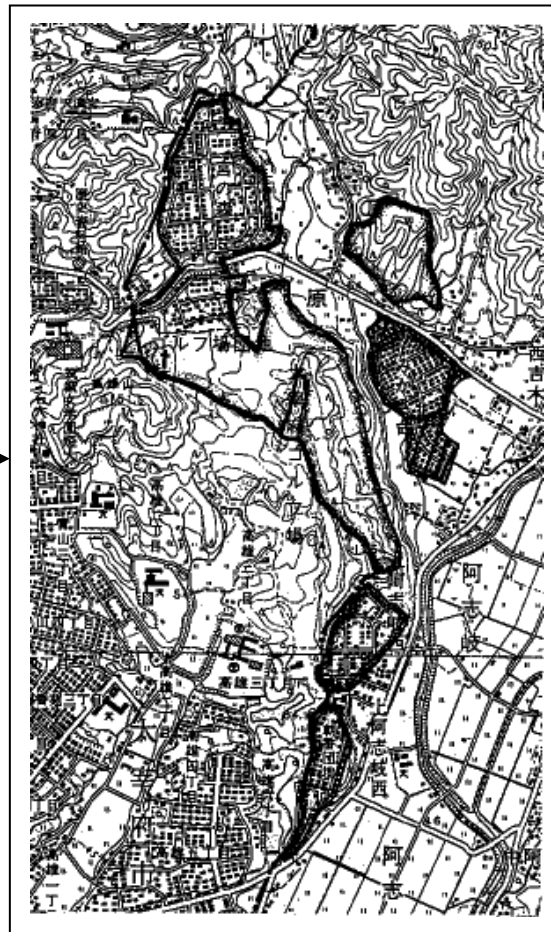
周辺は太宰府市に近接するところで、ゴルフ場や住宅団地の開発も多く、現在も住宅地等の造成が行われている。旧地形は、宝満山からの山地・丘陵地の南東部に位置する台地・段丘と低地面の境で山林と農用地（田）を形成していた。現地形は旧地形面が切盛造成され、平地の一部を盛土した落差(5m前後)のある擁壁で囲まれた中規模な住宅団地となっている。

旧低地面は農地として利用され、現在盛土調整された部分及び境界付近については、支持力が切土面よりも不安定であるため盛土面の厚い所による不同沈下、地盤の振動の差による建物被害など地震時に何らかの影響がみれるものと思われる。

旧年地形状況



近年地形状況

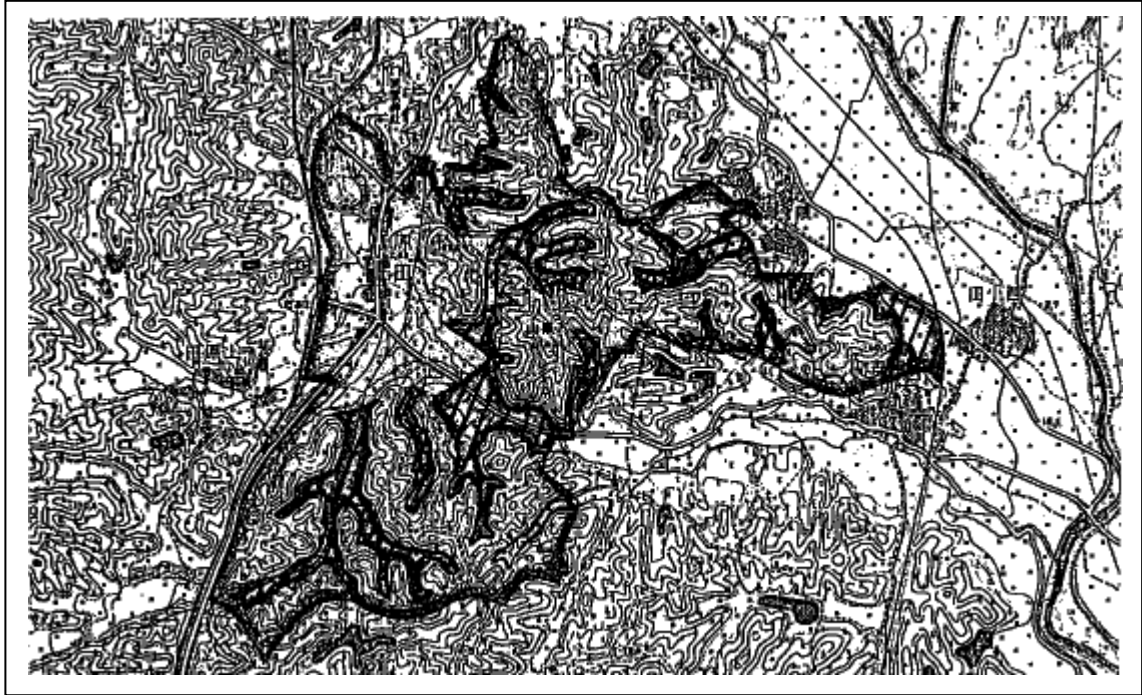


参考資料：筑紫野市地域防災計画 平成18年

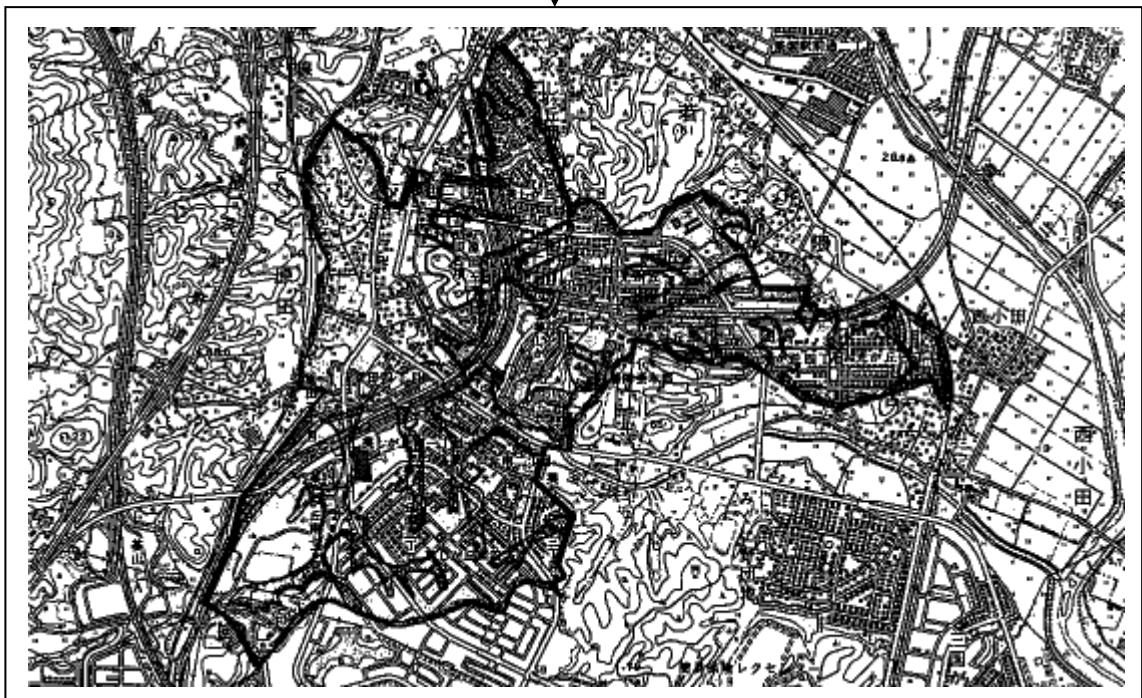
⑨原田・美しが丘・光が丘地区.....小郡・筑紫野ニュータウン

旧地形は、大振山(90m程度)の高さをもつ台地・段丘とその谷間に農用地(田)を形成していたが、現地形は、旧地形のほとんどが面影もなく、切盛造成された大規模な住宅団地となっている。また、台地・段丘とその谷間に農用地(田)を形成し、ため池が幾つか点在していたが、現地形は旧地形のほとんどが面影もなく、切盛造成された大規模な住宅団地や調整池となっている。旧低地面やため池の形態は見られず、下流域の住宅地との高低差もかなり大きく、大規模な切盛土造成地となっている。そのため、切盛境や盛土面については、地震時に何らかの影響がみれるものと思われる。ため池部分の盛土等は、危険度の違いは工事の工法等によってことなるので注意が必要である。

旧年地形状況



近年地形状況



参考資料：筑紫野市地域防災計画 平成18年

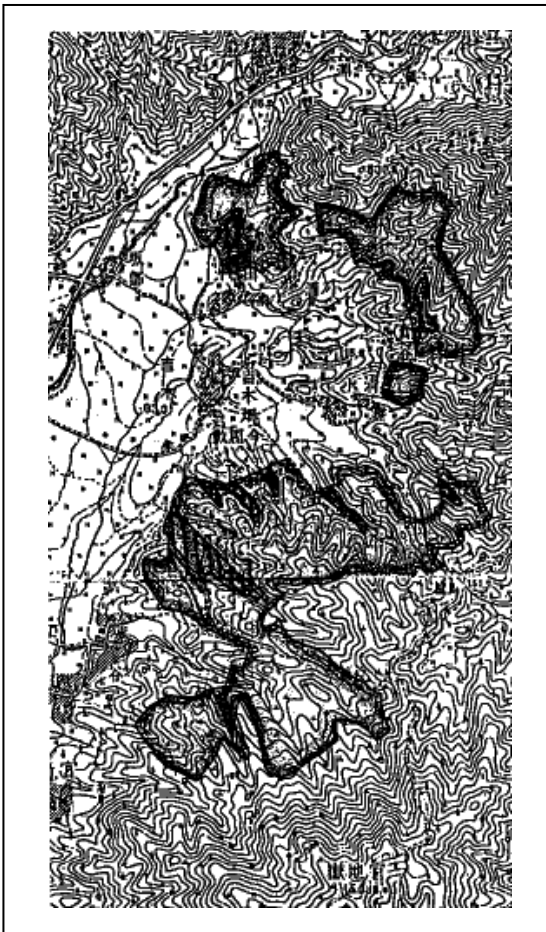
(2) 軟弱地盤、崩壊危険区域等の危険地域への住宅地域等の拡大

③ 東吉木・上阿志岐東地区..... 県立農業試験場、農業大学校

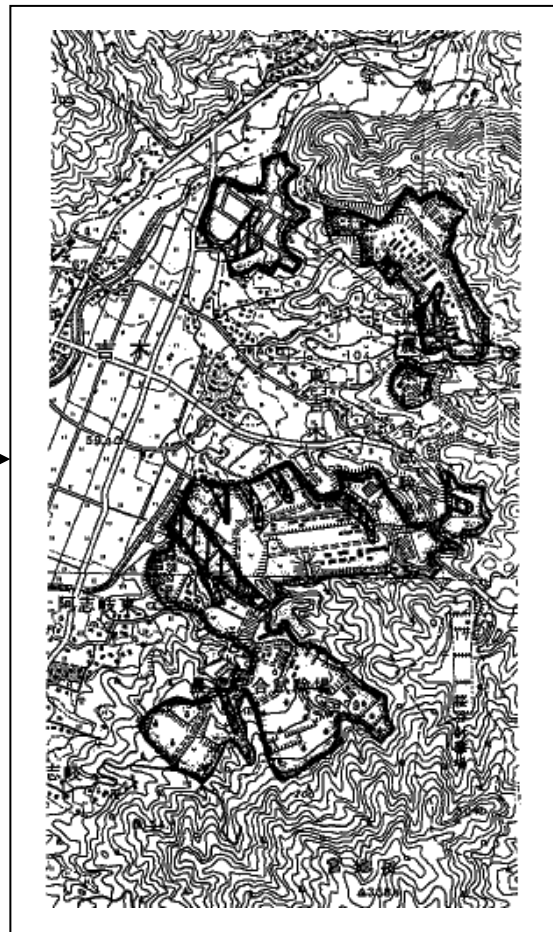
地形は大根地山(652m)から西部に位置する山地・丘陵地で、山地・山林を切り開いた人工改変地である。周辺は住宅開発が盛んで、農業試験場研修所などの農業関連の公共施設が集中する。上流域は350m級丘陵地の尾根に囲まれた土石流危険渓流が存在する。保全対象となる畜産研究所が開発され土砂災害の危険性が増える事となった。

畜産研究所上流は土砂災害の発生域となる溪流があり、豪雨時には溪流の土砂の流出や累加雨量の状況等に注意を要する。

旧年地形状況



近年地形状況



参考資料：筑紫野市地域防災計画 平成18年

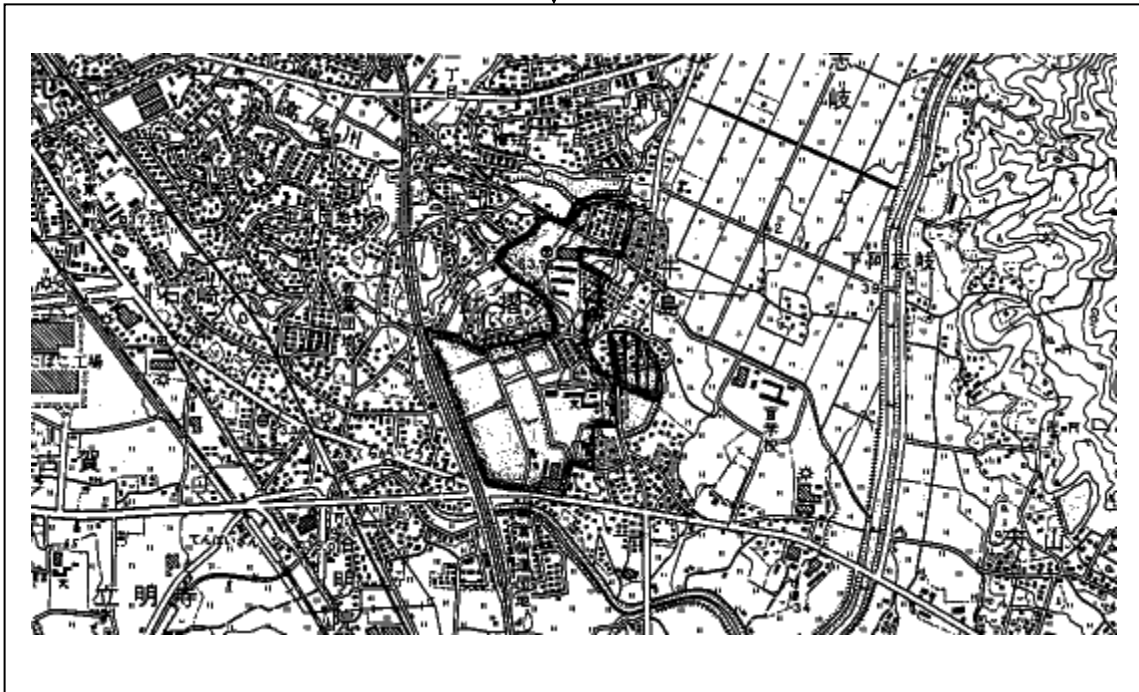
⑥針摺・牛島地区.....宅地開発、筑紫高校、筑紫野中学校

旧地形は、宝満山からの山地・丘陵地の南西部に位置する台地・段丘と低地面の境に位置し、山林や農用地の中に大規模なため池として利用されていた。現地形面は北側のため池の一部を盛土し、住宅団地として造成され、現在も建物を建築中である。

干拓地や埋立地など旧水面上の盛土地等では、盛土が新しく、砂質であり、締め固めてないほど液状化現象が起きやすいのが特徴である。なお、工法によりその性状は異なる。
旧年地形状況



近年地形状況



参考資料：筑紫野市地域防災計画 平成18年

《 主要河川水系 》 資料 1.3.5 (1)

ID	区分	番号	水系名	指定番号	河川名	下流端	所管	指定区間 (m)	延長 (m)	市域 流路延長 (m)	備考
1	1級河川	1	筑後川	112	宝珠川	宝満川合流点	那珂土木	3.7	1,730	1,730	
2		2	筑後川	116	山家川	宝満川合流点	那珂土木	7.5	5,540	5,490	
3		3	筑後川	117	山口川	宝満川合流点	那珂土木	7.7	10,030	7,650	
4		4	筑後川	118	山中川	山口川合流点	那珂土木	1.5	980	1,500	
5		5	筑後川	102	宝満川	筑後川合流点	那珂土木		12,740	11,700	
6		6	筑後川	111	牟田川	宝満川合流点	那珂土木		620	620	
7		7	筑後川	119	原川	宝満川合流点	那珂土木		3,180	2,200	
8		8	筑後川		兎ヶ原川	山口川合流点	那珂土木		1,400	1,400	
9		9	筑後川	113	曾根田川	宝満川合流点	那珂土木		2,040	300	
	計							20.4	38,260	32,590	
10	2級河川	1	御笠川	279	鷺田川	御笠川合流点	那珂土木		2,040	500	
11		2	御笠川	280	高尾川	鷺田川合流点	那珂土木		1,460	1,460	
	計								3,500	1,960	

参考資料：福岡県地域防災計画 平成22年3月

《 主要河川水系 》 資料 1.3.5 (2)

ID	区分	番号	水系名	河川名	下流端	所管	延長 (m)	市域 流域延長 (m)	流域面積 (km ²)	被災状況 件	備考
12	普通河川	1	宝満川	中島川	宝満川合流点	筑紫野市	1,572	1,572	14.92		
13		2	宝満川	後野川	宝満川合流点	筑紫野市	1,472	1,472	11.33		
14		3	宝満川	平原川	宝満川合流点	筑紫野市	583	583	4.00		
15		4	宝満川	山神田川	宝満川合流点	筑紫野市	734	734	2.27		
16		5	宝満川	後田川	宝満川合流点	筑紫野市	1,199	1,199	8.22		
17		6	宝満川	中の原川	宝満川合流点	筑紫野市	1,019	1,019	8.76		
18		7	宝満川	内山川	宝満川合流点	筑紫野市	400	400	1.44		
19		8	宝満川	六叟川	宝満川合流点	筑紫野市	1,500	1,500	6.89		
20		9	宝満川	桜木川	宝満川合流点	筑紫野市	1,175	1,175	20.88		
21		10	宝満川	久良々川	宝満川合流点	筑紫野市	3,100	3,100	27.21	24	
22		11	宝満川	一の谷川	宝満川合流点	筑紫野市	1,305	1,305	4.64		
23		12	宝満川	汐井川	宝満川合流点	筑紫野市	2,000	2,000	13.84	1	
24		13	山口川	権現川	宝満川合流点	筑紫野市	1,800	1,800	5.72		
25		14	山口川	古賀川	宝満川合流点	筑紫野市	700	700	3.95		
26		15	山口川	一の谷川	宝満川合流点	筑紫野市	750	750	8.96		
27		16	山口川	内ノ尾川	宝満川合流点	筑紫野市	2,380	2,380	4.32		
28		17	山口川	山の口川	宝満川合流点	筑紫野市	1,770	1,770	3.64		
29		18	山口川	堂の後川	宝満川合流点	筑紫野市	900	900	7.58		
30		19	山口川	山中川	宝満川合流点	筑紫野市	1,700	1,700	31.76		
31		20	山口川	掛林川	宝満川合流点	筑紫野市	1,450	1,450	8.64		
32		21	山口川	柿ヶ久保川	宝満川合流点	筑紫野市	2,300	2,300	15.87		
33		22	山口川	大谷川	宝満川合流点	筑紫野市	1,500	1,500	9.28		
34		23	山口川	兎ヶ原川	宝満川合流点	筑紫野市	1,800	1,800	16.24		
35		24	山口川	浦の原川	宝満川合流点	筑紫野市	1,250	1,250	8.01		
36		25	山口川	木ノ殿川	宝満川合流点	筑紫野市	1,500	1,500	18.89		
37		26	山口川	ビガ川	宝満川合流点	筑紫野市	750	750	7.06		
38		27	鷺田川	小川川	宝満川合流点	筑紫野市	230	230	3.20		
39		28	鷺田川	脇田川	御笠川合流点	筑紫野市	1,050	1,050	6.50		
40		29	鷺田川	御手洗川	御笠川合流点	筑紫野市	2,731	2,731	14.50		
41		30	鷺田川	鷺田川	御笠川合流点	筑紫野市	3,414	3,414	27.00	5	
42		31	鷺田川	御宮川	御笠川合流点	筑紫野市	2,750	2,750	16.00		
43		32	鷺田川	般若寺川	御笠川合流点	筑紫野市	902	902	9.02		
44		33	高尾川	栗田川	鷺田川合流点	筑紫野市	850	850	4.96		
45		34	高尾川	高尾川	鷺田川合流点	筑紫野市	950	950	4.80	2	
46		35	宝珠川	渡瀬川	宝満川合流点	筑紫野市	2,800	2,800	15.70		
47		36	宝珠川	脇田川	宝満川合流点	筑紫野市	1,200	1,200	11.12		
48		37	曾根川	添田川	宝満川合流点	筑紫野市	250	250	2.72		
49		38	山家川	小古野川	宝満川合流点	筑紫野市	2,500	2,500	34.24		
50		39	山家川	本谷川	宝満川合流点	筑紫野市	1,000	1,000	9.00		
計							57,236	57,236	433.08	32	

参考資料：福岡県地域防災計画 平成22年3月

《 災害危険箇所等 》 資料 1.4.1

災害危険箇所等	所管	箇所数	備考
①危険河川	市	6	
②水防箇所	市	8	
③急傾斜地崩壊危険箇所	市	22	
市 計		36	
④災害危険河川	県	7	
⑤重要水防区域	県	5	
⑥急傾斜地崩壊危険箇所	県	116	
⑦土石流危険溪流	県	76	
⑧地すべり危険箇所	県	2	
⑨山地災害危険箇所	県	104	
山腹崩壊危険地区		49	
崩壊土砂流出危険地区		52	
地すべり危険地区		0	
⑩道路危険箇所		145	
県 計		556	
危険箇所 計		592	

参考資料：福岡県地域防災計画 令和7年3月

《 災害危険河川 》 資料 1.4.2

(災害危険河川)

級別	水系	河川名	位置
一	筑後川	曾根田川	西小田
		宝珠川	美しが丘南3丁目 原田 美しが丘北3丁目 原田4丁目 原田5丁目
		山口川	山口 針摺東3丁目 針摺南1丁目
		山家川	山家
		山中川	平等寺
		宝満川	西小田 下見 大石
		二	御笠川

参考資料：福岡県地域防災計画 令和7年3月

《重要水防箇所》 資料 1.4.3

(重要水防箇所) 県知事管理区間(河川)

番号	県土整備事務所名	水系名 河川名	左右岸別	延長 (m)	位置			重要度	予想される 事態	水防工事
					区町村	大字	キロ杭位置			
11-5	那珂	御笠川 鷺田川	左右	150	筑紫野 太宰府	杉塚7丁目 通古賀3丁目	落合井堰より 上流	A	洗掘、溢水	シート張工 積み土のう工
				150						
11-6	那珂	御笠川 高尾川	左右	600 600		紫	紫橋(上流側)より 鉄ノ木橋まで	A	洗掘、溢水	シート張工 積み土のう工
11-10	那珂	筑後川 宝満川	左右	2,100 2,100		阿志岐	大宮司橋より 宝満橋まで	B	洗掘、溢水	木流し工 積み土のう工
11-12	那珂	筑後川 宝満川	左右	350 350		吉木	岩本橋上下 流	C	洗掘、溢水	むしろ張工 積み土のう工
11-13	那珂	筑後川 山口川	左右	1,300 200		永岡	永岡橋上流	A	洗掘、溢水	むしろ張工 積み土のう工

参考資料：福岡県地域防災計画 令和7年3月

(重要水防箇所) 市管理区間(河川)

番号	水系名	河川名	関係事務所	重用水防箇所				予想される 危険	対水防 工法	要避難 戸数	避難場所 (予定)
				左右別	延長 (m)	大字	行政区				
1	御笠川	鷺田川	那珂県土整備事務所	左	300	杉塚	杉塚	堤防溢水	積土(堤杭)	50	天拝小学校
2	〃	〃	筑紫野市 土木課	左右	1,500 1,500	〃	六反 杉塚	〃	〃	40	〃
3	〃	高尾川	那珂県土整備事務所	左右	600 600	紫	紫	〃	〃	30	二日市東小学校
4	筑後川	宝満川	〃	左右	350 350	吉木	西吉木	〃	〃	10	吉木小学校
5	〃	〃	〃	左右	1,800 1,800	阿志岐	中阿志岐 下阿志岐	〃	〃	5	阿志岐小学校
6	〃	山口川	〃	左	600	俗明院	俗明院	〃	〃	40	二日市東小学校
7		般若寺第一 雨水幹線	筑紫野市 上下水道工務課	左右	80 80	二日市北	京町	〃	〃	5	二日市北小学校
8		東新町 雨水幹線	〃	左右	300 300	二日市	紫	〃	〃	20	二日市東小学校

参考資料：筑紫野市水防計画書 令和7年

《農業用ため池》 資料 1.4.4

番号	名称	河川名	所在地	管理者	貯水量 (m ³)	堤高 (m)	堤長 (m)	築造年	備考
1	下原池	原川	原	原水利組合	1.0	8.0	30.0	不明	※
2	中村池	原川	原	原水利組合	11.8	8.4	69.0	S. 9	※
3	堀浦池	原川	原	原水利組合	7.0	8.5	45.0	S. 21	
4	山神田池	原川	原	原水利組合	1.0	7.0	50.0	M. 40	※
5	大原池	宝満川	本道寺	本道寺水利組合	16.2	9.9	52.0	M. 30	※
6	石原池	宝満川	本道寺	本道寺水利組合	0.5	2.9	20.0	不明	※
7	梅ヶ谷池	桜木川	阿志岐	上阿志岐東水利組合	14.8	12.4	40.0	S. 30	※
8	堀切池	桜木川	吉木	東吉木水利組合	9.0	12.4	33.0	不明	※
9	風来池	桜木川	吉木	東吉木水利組合	0.7	5.5	20.0	不明	※
10	俊角池	宝満川	天山	天山水利組合	6.0	4.5	108.0	不明	※
11	重ね池	宝満川	天山	天山水利組合	15.0	5.6	100.0	不明	※
12	芋ヶ谷池	宝満川	天山	天山水利組合	50.0	6.0	143.0	不明	※
13	山畑池	宝満川	天山	天山水利組合	3.0	4.0	50.0	不明	※
14	岡田池	宝満川	岡田	—	16.0	4.1	220.0	不明	※
15	宮ノ前池	宝満川	牛島	牛島水利組合	10.1	3.0	110.0	不明	※
16	牛島池	宝満川	牛島	牛島水利組合	11.0	2.7	164.8	M. 28	※
17	片谷池	宝満川	牛島	牛島水利組合	35.0	6.1	66.0	不明	※
18	大曲池	不明	針摺東1丁目	—	1.0	3.0	50.0	不明	
19	山谷調整池	鷺田川	杉塚	杉塚水利組合	73.5	5.4	92.0	H. 1改	※
20	脇田調整池	鷺田川	塔原西1丁目	杉塚・塔原水利組合	48.8	6.0	96.3	H. 2改	※
21	原口池	御手洗川	塔原西2丁目	塔原水利組合	35.0	5.5	222.0	不明	※
22	上池	鷺田川	塔原西2丁目	塔原水利組合	10.0	3.8	22.0	不明	
23	大門池	御手洗川	塔原南1丁目	塔原水利組合	55.0	6.2	150.0	不明	※
24	五重谷池	御手洗川	塔原南2丁目	塔原水利組合	10.0	7.0	40.0	不明	※
25	蓴菜池	御手洗川	塔原南3丁目	塔原水利組合	1.0	2.0	50.0	不明	
26	緋打池	御手洗川	塔原	塔原水利組合	1.5	6.5	46.0	不明	※
27	狐谷池	鷺田川	天拝坂1丁目	塔原水利組合	15.0	3.9	39.0	H. 3改	
28	薩摩谷池	鷺田川	天拝坂2丁目	塔原水利組合	13.8	2.6	128.1	H. 6改	
29	中谷池	鷺田川	天拝坂6丁目	塔原水利組合	50.0	2.7	64.3	H. 3改	
30	水石谷調整池	鷺田川	天拝坂6丁目	塔原水利組合	126.0	9.0	82.8	H. 1改	
31	池上池	鷺田川	武蔵	武蔵水利組合	20.0	6.3	82.0	不明	※
32	門田池	鷺田川	武蔵	武蔵水利組合	15.0	7.4	57.0	不明	※
33	馬場池	鷺田川	武蔵	武蔵水利組合	3.0	4.3	50.0	不明	※
34	姥ヶ谷池	山口川	古賀	古賀水利組合	10.0	5.0	62.0	不明	※
35	江永浦池	山口川	古賀	古賀水利組合	32.1	5.0	86.8	不明	
36	舟木池	鷺田川	古賀	古賀水利組合	15.0	5.5	65.0	不明	
37	五穀神池	高尾川	紫2丁目	紫水利組合	16.0	12.0	70.0	不明	※
38	有田坂池	久良々川	萩原	萩原水利組合	3.0	7.9	71.0	不明	※
39	柿ノ内上池	不明	萩原	萩原水利組合	1.0	2.5	50.0	不明	※
40	柿ノ内下池	不明	萩原	萩原水利組合	1.0	1.0	15.0	不明	※
41	山口池	山口川	山口	小古野水利組合	1.0	7.2	25.0	不明	※
42	えんどらん池	不明	平等寺	平等寺水利組合	2.0	5.0	50.0	不明	※
43	練富士池	山口川	平等寺	山口川水利組合	50.0	11.8	55.0	S41. 5. 21	
44	平等寺南池	山口川	平等寺	平等寺水利組合	1.0	4.5	25.0	不明	※
45	耳取池	久良々川	筑紫	—	26.8	6.7	46.2	不明	
46	城山池	一ノ谷川	筑紫	城山水利組合	4.0	3.8	32.0	不明	※
47	大牟田池	宝満川	永岡	永岡水利組合	15.0	5.5	60.0	M. 28	※
48	永岡池	宝満川	永岡	永岡水利組合	45.0	6.5	10.0	M. 28	
49	木山池	宝満川	永岡	諸田水利組合	6.0	6.3	31.0	不明	※

〈第1章 第4節 災害危険箇所〉

50	諸田池	宝嵩川	諸田	諸田水利組合	19.8	5.4	210.0	不明	※
51	碓池	宝嵩川	若江	—	30.0	6.0	105.0	不明	※
52	中ノ池	宝嵩川	若江	—	8.0	4.0	73.0	不明	※
53	上ノ池	宝嵩川	若江	—	7.0	3.5	45.0	不明	※
54	鳥越池	宝嵩川	若江	—	10.5	4.9	38.0	不明	※
55	隈新池	宝嵩川	隈	隈水利組合	84.9	6.6	75.0	H.4改	※
56	光ヶ丘1号調整池	宝嵩川	光ヶ丘3丁目	西小田水利組合	34.4	6.0	25.0	S.58	
57	一の谷池	渡瀬川	原田	上原田水利組合	15.0	8.0	50.0	不明	※
58	鳥越新池	渡瀬川	原田	上原田水利組合	12.6	6.0	60.0	M.40	※
59	浦谷池	渡瀬川	原田	上原田水利組合	5.0	6.0	40.0	不明	※
60	三浦谷池	渡瀬川	原田	上原田水利組合	20.0	7.0	47.0	不明	※
61	古野池	脇田川	原田	上原田水利組合	4.0	5.0	65.0	不明	※
62	道德池	山家川	山家	山家水利組合	17.4	8.9	132.0	H.20改	※
63	大又池	山家川	山家	山家水利組合	2.0	6.0	156.5	M.40	※
64	本谷池	山家川	山家	山家水利組合	25.5	11.3	99.4	H13.改	※
65	桜谷池	小古野川	山家	山家水利組合	11.0	7.0	65.0	S.39	※

参考資料：農政課 令和6年3月末

《急傾斜地崩壊危険箇所一覧》 資料1.4.5(1)

(人工斜面)

No	箇所番号	箇所名	位置	地形要因			保全対象		
				延長(m)	傾斜(度)	高さ(m)	人家(戸)	公共施設	道路・鉄道(m)
1	217-I-002A	原(a)	原	140	50	20	6		市町村道(250)
2	217-I-014A	天拝坂4丁目	天拝坂4丁目	210	60	21	24		市町村道(210)
3	217-I-023A	天拝坂6丁目(a)	天拝坂6丁目	100	55	20	6		市町村道(70)
4	217-I-031A	山家(n)	山家	70	35	20	5		市町村道(110)
5	217-I-038A	山口(f)	山口	240	40	25	6		
6	217-II-024A	天拝坂6丁目(b)	天拝坂6丁目	100	50	25	4		市町村道(100)
7	217-II-036A	山家(q)	山家	30	55	12	1		
		計	7箇所	890			52		

《急傾斜地崩壊危険箇所一覧》 資料1.4.5(2)

(自然斜面 I)

No	箇所番号	箇所名	位置	地形要因			保全対象		
				延長(m)	傾斜(度)	高さ(m)	人家(戸)	公共施設	道路・鉄道(m)
1	217-I-001N	宮の森団地	宮の森団地	200	45	20	39		市町村道(350)
2	217-I-003N	原(d)	原	150	35	30	6		市町村道(135)
3	217-I-004N	原(c)	原下原	65	43	40	6		市町村道(45)
4	217-I-005N	原(b)	原	300	45	50	15		市町村道(300)
5	217-I-006N	原(e)	原	60	45	15	1		市町村道(50)
6	217-I-007N	大石(a)	大石	80	45	30	6		県道(70)
7	217-I-008N	吉木(b)	吉木	60	45	30	3	1	市町村道(30)
8	217-I-009N	二日市北	二日市北3丁目	150	45	15	15		
9	217-I-010N	吉木(a)	吉木	110	40	25	15		市町村道(130)
10	217-I-011N	下西山(1)	山家下西山	170	45	40	7		市町村道(180)
11	217-I-012N	山家(m)	山家	100	40	40	6		市町村道(100)
12	217-I-013N	下西山(2)	山家下西山	180	45	30	14	1	市町村道(240)
13	217-I-015N	峯畑	二日市峯畑	100	50	8	9		市町村道(100)
14	217-I-016N	松ヶ浦	二日市京町	120	40	10	24		市町村道(100)
15	217-I-017N	陣尾	陣尾	170	50	10	36		
16	217-I-018N	京町	二日市	120	70	10	20		市町村道(120)
17	217-I-019N	鯉石	二日市鯉石	170	45	10	32		市町村道(170)
18	217-I-020N	朝香団地(2)	阿志岐柚の木	120	50	10	19		市町村道(120)
19	217-I-021N	朝香団地(1)	阿志岐柚の木	200	45	20	10		県道(120)
20	217-I-022N	阿志岐(a)	阿志岐	50	30	45	5		
21	217-I-024N	武蔵団地	塔原	70	45	20	11	1	市町村道(80)
22	217-I-025N	塔原	塔原	70	50	10	13		市町村道(150)

〈第1章 第4節 災害危険箇所〉

23	217-I-026N	武蔵(a)	武蔵	130	35	30	7		市町村道 (50)
24	217-I-027N	吉野	山家吉野	80	40	15	6		市町村道 (50)
25	217-I-028N	山家(a)	山家	150	30	15	25		市町村道 (100)
26	217-I-029N	古賀(b)	古賀	170	30	10	16		
27	217-I-030N	屋敷	山家屋敷	160	40	20	15		市町村道 (110)
28	217-I-032N	永岡(b)	永岡	40	40	15	5		
29	217-I-033N	山家	山家	120	40	15	19		市町村道 (70)
30	217-I-034N	山口(d)	山口	150	50	60	6		
31	217-I-035N	山口(a)	山口	70	60	30	1	1	市町村道 (70)
32	217-I-036N	山口(e)	山口木屋町	130	45	40	6		市町村道 (40)
33	217-I-037N	山口(c)	山口小石	100	45	40	18	1	県道 (60) 市町村道 (150)
34	217-I-039N	山口(1)	山口下の谷	330	50	30	15	3	県道 (150) 市町村道 (80)
35	217-I-040N	屋敷(a)	屋敷	110	30	10	5		
36	217-I-041N	古賀(a)	古賀	130	40	10	13		市町村道 (100)
37	217-I-042N	萩原(a)	萩原	235	40	30	10		市町村道 (100)
38	217-I-043N	むさしヶ丘	むさしヶ丘3丁目	210	45	20	40		市町村道 (280)
39	217-I-044N	永岡(a)	永岡	40	30	15	5		
40	217-I-045N	山口(g)	山口仲屋敷	100	50	10		1	
41	217-I-046N	山口(3)	山口堂仲	130	40	30	5		県道 (100)
42	217-I-047N	山口(b)	山口	100	40	30	9		市町村道 (50)
43	217-I-048N	山口(2)	山口堂仲	180	40	20	18		市町村道 (170)
44	217-I-049N	萩原(b)	萩原	120	40	25	5		
45	217-I-050N	筑紫(b)	筑紫	100	40	15	6		
46	217-I-051N	筑紫	筑紫	130	50	10	20		市町村道 (130)
47	217-I-052N	筑紫(a)	筑紫	310	45	10	11		県道 (80) 市町村道 (200)
48	217-I-053N	若江(a)	若江	200	40	30	9		
49	217-I-054N	平等寺(a)	平等寺下村	250	40	20	7		県道 (130)
50	217-I-055N	原田	原田	200	40	20	11		
51	217-I-056N	美しが丘	美しが丘3丁目	100	45	25	26		市町村道 (280)
52	217-I-057N	平等寺(b)	平等寺	300	45	25	8		市町村道 (50)
		合計	52箇所				659	9	

参考資料：福岡県地域防災計画 令和7年3月

《急傾斜地崩壊危険箇所一覧》 資料1.4.5(3)

(自然斜面 II)

No	箇所番号	箇所名	位置	地形要因			保全対象		
				延長(m)	傾斜(度)	高さ(m)	人家(戸)	公共施設	道路・鉄道(m)
1	217-II-001N	柚須原(b)	柚須原	30	45	20	2		市町村道 (30)
2	217-II-002N	柚須原(a)	柚須原	60	60	25	1		市町村道 (50)
3	217-II-003N	大石(e)	大石	40	45	20	2		市町村道 (20)
4	217-II-004N	本道寺(a)	本道寺	60	60	12	1		
5	217-II-005N	香園(a)	香園	40	60	25	2		
6	217-II-006N	原(f)	原下原	105	43	20	2		市町村道 (105)
7	217-II-007N	原(g)	原	15	45	30	2		市町村道 (30)
8	217-II-008N	大石(b)	大石	60	45	30	1		県道 (40)
9	217-II-009N	大石(c)	大石	90	45	25	1		県道 (40)
10	217-II-010N	大石(d)	大石	70	45	20	2		市町村道 (30)
11	217-II-011N	吉木(c)	吉木	85	45	20	4		市町村道 (65)
12	217-II-012N	大石(g)	大石	20	45	30	1		県道 (10)
13	217-II-013N	大石(f)	大石	35	45	20	1		
14	217-II-014N	本道寺(b)	本道寺	25	60	25	1		市町村道 (30)
15	217-II-015N	吉木(d)	吉木小浦	100	45	15	4		市町村道 (150)
16	217-II-016N	吉木(e)	吉木畠中	60	45	10	4		
17	217-II-017N	山家(d)	山家下西山	50	60	20	2		
18	217-II-018N	山家(e)	山家下西山	90	45	40	4		
19	217-II-019N	山家(c)	山家下西山	80	45	40	3		JR (100) 市町村道 (100)
20	217-II-020N	山家(f)	山家下西山	30	45	20	2		
21	217-II-021N	山家(b)	山家上西山	30	45	30	1		
22	217-II-022N	山家(g)	山家	80	45	40	2		市町村道 (90)
23	217-II-023N	山家(h)	山家	80	60	30	2		
24	217-II-025N	阿志岐(e)	阿志岐	40	30	15	2		その他 (30)
25	217-II-026N	阿志岐(c)	阿志岐	20	35	20	1		
26	217-II-027N	阿志岐(b)	阿志岐	50	40	40	2		
27	217-II-028N	山家(o)	山家	60	50	15	2		
28	217-II-029N	山家(i)	山家	100	45	30	3		
29	217-II-030N	山家(p)	山家	30	40	20	1		市町村道 (30)
30	217-II-031N	塔原	塔原	50	35	25	1		
31	217-II-032N	武蔵(b)	武蔵	70	40	12	3		
32	217-II-033N	阿志岐(f)	阿志岐向原	30	60	20	2		
33	217-II-034N	阿志岐(d)	阿志岐	20	50	8	2		市町村道 (20)
34	217-II-035N	山家(i)	山家	50	30	15	1		
35	217-II-037N	山口(h)	山口柿ヶ久保	50	45	5	2		

〈第1章 第4節 災害危険箇所〉

36	217-II-038N	山口(i)	山口	110	50	30	4		市町村道 (110)
37	217-II-039N	山口(j)	山口木屋町	20	50	10	1		
38	217-II-040N	萩原(a)	萩原	15	50	7	1		
39	217-II-041N	萩原(b)	萩原	150	40	20	4		市町村道 (150)
40	217-II-042N	筑紫(c)	筑紫城山	40	30	12	1		
41	217-II-043N	山口(k)	山口柿ヶ久保	30	40	10	1		
42	217-II-044N	山口(m)	山口倉谷	40	60	10	1		市町村道 (20)
43	217-II-045N	山口(o)	山口仲屋敷	50	45	10	3		県道 (30)
44	217-II-046N	山口(l)	山口	150	50	10	4		市町村道 (70)
45	217-II-047N	山口(n)	山口	20	45	40	1		
46	217-II-048N	萩原(c)	萩原	15	50	35	3		
47	217-II-049N	平等寺(e)	平等寺	110	60	25	4		
48	217-II-050N	平等寺(d)	平等寺下村	90	40	55	2		その他 (110)
49	217-II-051N	平等寺(j)	平等寺下村	110	60	25	2		
50	217-II-052N	平等寺(i)	平等寺下村	40	60	25	2		市町村道 (40)
51	217-II-053N	平等寺(h)	平等寺下村	30	60	25	1		その他 (30)
52	217-II-054N	平等寺(c)	平等寺	35	35	20	1		市町村道 (25)
53	217-II-055N	平等寺(f)	平等寺	30	45	15	1		
54	217-II-056N	平等寺(m)	平等寺上村	40	50	20	2		
55	217-II-057N	平等寺(l)	平等寺上村	30	45	15	2		
56	217-II-058N	平等寺(k)	平等寺上村	30	50	20	1		市町村道 (10)
57	217-II-059N	平等寺(g)	平等寺	70	30	50	2		その他 (25)
		合計	57箇所				113		

参考資料：福岡県地域防災計画 令和7年3月

《急傾斜地崩壊危険箇所一覧（市）》 資料 1.4.6

番号	行政区	所在地	危険箇所	要水防延長	予想される危険	対水防工法	危険戸数	避難場所(予定)
1	塔原	塔原	塔原西、大行寺斜面	30	斜面崩壊による土砂流出の恐れあり	シート張り	(道路)	天拝小学校
2	宮田町	二日市北	宮田町公民館南側斜面	20	斜面崩壊による土砂流出の恐れあり	シート張り 積土俵	(公民館)	二日市北小学校
3	宮田町	二日市北	修理田団地東側斜面	30	斜面崩壊による土砂流出の恐れあり	シート張り 積土俵	10	二日市北小学校
4	松ヶ浦	紫	旧松ヶ浦公民館付近 後藤・草場宅南擁壁	20	擁壁崩壊による落石の恐れあり	シート張り	10	二日市北小学校
5	上阿志岐西	阿志岐	朝香団地東側斜面 (2箇所)	200	斜面崩壊による土砂流出の恐れあり	シート張り 積土俵	14	阿志岐小学校
6	上阿志岐西	阿志岐	朝香団地西側山林斜面	90	斜面崩壊による土砂流出の恐れあり	シート張り	5	阿志岐小学校
7	上阿志岐西	阿志岐	朝香団地北側斜面	60	斜面崩壊による土砂流出の恐れあり	シート張り 積土俵	10	阿志岐小学校
8	上阿志岐西	阿志岐	筑紫野団地 (配水タンク横) 斜面	30	斜面崩壊による土砂流出の恐れあり	シート張り 積土俵	2	阿志岐小学校
9	原	原	石坂団地西側斜面	130	斜面崩壊による土砂流出の恐れあり	シート張り	5	吉木小学校
10	東吉木	吉木	葉光ヶ丘 (ガス貯蔵車裏) 斜面	50	斜面崩壊による土砂流出の恐れあり	シート張り 積土俵	11	吉木小学校
11	山家2区	山家	下西山大橋付近斜面	50	斜面崩壊による土砂流出の恐れあり	シート張り	(道路)	山家小学校
12	山家3区	山家	山家ニュータウン西側斜面	120	斜面崩壊による土砂流出の恐れあり	シート張り 積土俵	16	山家小学校
13	山口	山口	尾中酒店奥 (入江、帆足宅裏) 斜面	60	斜面崩壊による土砂流出の恐れあり	シート張り 積土俵	2	山口小学校
14	平等寺	平等寺	平等寺公民館付近 (野見山宅裏) 斜面	30	斜面崩壊による土砂流出の恐れあり	シート張り 積土俵	1	山口小学校
15	筑紫	筑紫	福岡常葉高校横斜面	20	斜面崩壊による土砂流出の恐れあり	シート張り	6	筑紫小学校
16	原田	原田	筑紫神社北側斜面	100	斜面崩壊による土砂流出の恐れあり	シート張り 積土俵	16	原田小学校
17	筑紫	筑紫	筑紫神社北側団地斜面	100	斜面崩壊による土砂流出の恐れあり	シート張り 積土俵	14	筑紫小学校
18	東吉木	東吉木	高良神社付近斜面	200	斜面崩壊による土砂流出の恐れあり	シート張り	4	吉木小学校
19	山家2区	山家	下西山公民館付近斜面	20	斜面崩壊による土砂流出の恐れあり	シート張り	3	山家小学校
20	大石	大石	小原川一ノ瀬砂防堰堤	100	斜面崩壊による土砂流出の恐れあり	シート張り	5	吉木小学校
21	萩原	萩原	萩原公民館南東部斜面	10	斜面崩壊による土砂流出の恐れあり	シート張り	6	山口小学校
22	山口	山口	宮尾組正面斜面	30	斜面崩壊による土砂流出の恐れあり	シート張り	4	山口小学校

参考資料：筑紫野市水防計画書 令和7年

《 急傾斜地崩壊危険区域一覧 》 資料 1.4.7

那珂県土整備事務所管内

No	区域名	所在地	指定面積	指定年月日	告示番号
1	京町	筑紫野市大字二日市	0.2240	S54. 2.17	228
2	峰畑	筑紫野市大字二日市	0.0428	H 5. 1.20	141
		筑紫野市二日市北一丁目	0.1212	H28.10.4	727
3	阿志岐	筑紫野市大字阿志岐	0.1199	H22. 2.10	265
4	筑紫	筑紫野市大字筑紫、大字原田	0.2142	H23. 1.19	164
5	阿志岐	筑紫野市大字阿志岐	0.1585	R2. 3.24	272
6	筑紫(a)-1	筑紫野市大字筑紫	0.4115	R5. 4.4	231

参考資料：福岡県地域防災計画 令和7年3月

《土石流危険溪流一覧》 資料 1.4.8

県 溪流番号	危険箇所				溪流概況			保全対象	
	水系	河川	溪流	字	溪流長 (km)	流域 面積 (km ²)	最急傾斜 勾配 (度)	人家 戸数 (戸)	公共 施設等
217-I-001	筑後川	宝満川	柚須原川	柚須原	2.07	1.51	13	9	公民館
217-I-002	筑後川	宝満川	ツツノ谷	本道寺	0.81	0.15	12	7	寺
217-I-003	筑後川	宝満川	フジ谷	大石	0.44	0.10	15	8	寺
217-I-004	筑後川	宝満川	大山谷	本道寺	0.25	0.05	19	5	公民館
217-I-005	筑後川	宝満川	本道寺谷	本道寺	0.35	0.03	18	6	公民館
217-I-006	筑後川	宝満川	小原川	大石	1.07	0.34	22	7	—
217-I-007	筑後川	宝満川	大石川	大石	0.99	0.60	17	19	公民館
217-I-008	筑後川	宝満川	久保田谷	大石	0.43	0.06	21	16	公民館
217-I-009	筑後川	宝満川	上屋敷谷	大石	0.54	0.09	21	14	—
217-I-010	筑後川	宝満川	四郎五郎谷	坂部	0.84	0.28	16	14	—
217-I-011	筑後川	宝満川	吉木谷	吉木	0.19	0.01	16	0	小学校
217-I-013	筑後川	原川	ミスタ谷	下原	0.25	0.03	11	13	—
217-I-014	筑後川	原川	中村谷	中村谷	0.15	0.02	13	6	—
217-I-015	筑後川	宝満川	シメノロ谷	宮崎	0.33	0.09	14	7	—
217-I-016	筑後川	宝満川	杉谷川	宮崎	0.82	0.21	13	5	—
217-I-017	筑後川	宝満川	吉木谷	吉木	0.48	0.16	11	11	—
217-I-018	筑後川	宝満川	東吉木谷	東吉木	0.62	0.41	10	0	農業総合試験場
217-I-019	筑後川	宝満川	大石谷	大石	0.11	0.02	20	11	—
217-I-020	筑後川	宝満川	浦野谷	番園	0.53	0.11	16	5	—
217-I-021	筑後川	山家川	石輪谷	上西山	0.62	0.08	15	5	—
217-I-022	筑後川	山家川	下西山川	下西山	0.18	10.00	9	12	公民館
217-I-023	筑後川	山家川	下西谷(2)	下西山	0.21	0.02	13	17	—
217-I-024	筑後川	山家川	下西谷(1)	下西山	0.23	0.08	12	18	—
217-I-025	筑後川	山家川	下西山沢	下西山	0.64	0.23	9	18	—
217-I-026	筑後川	山家川	屋敷谷	屋敷	0.32	0.03	8	14	—
217-I-027	筑後川	山家川	池田谷	池田	0.29	0.03	18	6	—
217-I-028	筑後川	小古野川	塩屋原谷	塩屋原	0.23	0.05	24	8	—
217-I-029	筑後川	山家川	大江谷	道德	0.76	0.19	7	8	—
217-I-030	筑後川	山家川	片宗谷	山家	0.25	0.05	13	22	—
217-I-031	筑後川	山家川	本谷	山家	0.58	0.45	14	20	—
217-I-032	筑後川	山家川	桃谷	山家	0.57	0.13	11	21	—
217-I-033	筑後川	山口川	梅ヶ谷	上村	0.33	0.04	16	5	—
217-I-034	筑後川	山口川	大岩屋谷	山神	0.48	0.23	14	11	公民館
217-I-035	筑後川	山口川	仲屋敷谷	仲屋敷	0.93	0.23	12	14	—
217-I-036	筑後川	山口川	堂仲谷	堂仲	0.10	0.03	23	5	—
217-I-037	筑後川	山口川	堂中沢	山口	0.16	0.14	13	6	—
217-I-038	筑後川	山口川	大谷		1.10	0.67	14	25	—
217-I-039	筑後川	山口川	平木浦谷	平木	1.00	0.24	12	15	—
217-I-040	筑後川	山口川	八反田谷	山口	0.21	0.06	13	6	—
217-I-041	筑後川	山口川	浦谷	京手	0.07	0.01	23	1	寺(集会施設)
217-I-042	筑後川	山口川	木屋谷	木屋町	0.13	0.03	18	5	寺
217-I-043	筑後川	山口川	浦口谷	萩原	0.21	0.02	10	8	—

〈第1章 第4節 災害危険箇所〉

217-I-044	筑後川	久良々川	山谷沢(1)	萩原	0.62	0.23	12	14	—
217-I-045	御笠川	高尾川	城ヶ原谷	舟木	1.23	0.62	7	13	—
217-I-046	御笠川	高尾川	八隈谷	武蔵	0.37	0.11	16	17	—
217-I-047	御笠川	高尾川	池上谷	武蔵	0.25	0.03	12	7	寺
217-I-048	御笠川	高尾川	武蔵寺谷	大門	0.73	0.11	10	7	—
217-I-049	御笠川	高尾川	大門川	大門	0.57	0.14	12	2	寺(集会施設)
217-I-050	御笠川	高尾川	大門谷	武野田地	0.37	0.05	10	12	—
217-I-051	筑後川	高尾川	塔原谷	塔原	1.18	0.61	18	28	—
		計	50箇所					533	
217-II-001	筑後川	宝満川	柚須原谷	柚須原	1.27	0.68	16	4	—
217-II-002	筑後川	宝満川	柚須原沢	柚須原	0.22	0.03	17	3	—
217-II-003	筑後川	宝満川	大山谷(2)	本道寺	0.13	0.01	15	1	—
217-II-004	筑後川	宝満川	仏頂谷(1)	本道寺	1.61	0.57	17	1	—
217-II-005	筑後川	宝満川	仏頂谷(2)	本道寺	1.20	0.38	20	1	—
217-II-006	筑後川	宝満川	大石東谷	大石	0.40	0.15	15	1	—
217-II-007	筑後川	宝満川	大石谷	大石	0.57	0.12	22	4	—
217-II-008	筑後川	宝満川	福の投谷	深坂	0.25	0.01	18	2	—
217-II-009	筑後川	原川	中村谷	中村	0.20	0.02	9	4	—
217-II-010	筑後川	宝満川	地緑沢	天山	0.40	0.05	14	3	—
217-II-011	筑後川	宝満川	脇道谷	脇道	0.52	0.10	18	2	—
217-II-012	筑後川	山家川	上西山川	山家一区	1.29	0.58	13	4	—
217-II-013	筑後川	山家川	上西山沢	山家一区	0.30	0.03	12	2	—
217-II-014	筑後川	山家川	下西山谷(2)	下西山	0.22	0.03	18	2	—
217-II-015	筑後川	山家川	下西山谷	下西山	0.20	0.03	21	3	—
217-II-016	筑後川	山口川	権現谷	平等寺	0.75	0.36	11	2	—
217-II-017	筑後川	山口川	上村沢(1)	平等寺	0.36	0.04	13	1	—
217-II-018	筑後川	山口川	上村沢(2)	平等寺	0.25	0.03	14	1	—
217-II-019	筑後川	山口川	中野谷	中野	0.36	0.04	12	1	—
217-II-020	筑後川	山口川	下村谷(1)	平等寺	0.22	0.03	14	1	—
217-II-021	筑後川	山口川	下村谷(2)	平等寺	0.12	0.02	18	4	—
217-II-022	筑後川	山口川	倉谷沢	倉谷	0.80	0.37	9	2	—
217-II-023	筑後川	山口川	山谷沢(3)	萩原	0.17	0.01	14	2	—
217-II-024	筑後川	山口川	山谷沢(2)	萩原	0.86	0.24	10	2	—
217-II-025	筑後川	久良々川	萩原沢(1)	萩原	0.26	0.03	8	4	—
217-II-026	筑後川	久良々川	萩原沢(2)	萩原	0.24	0.03	10	1	—
		計	26箇所					58	

参考資料：福岡県地域防災計画 令和7年3月

《砂防指定地一覧》 資料 1.4.9

No	溪流名	告示年月日	告示番号	指定面積 (ha)
1	山家川	S23. 5. 20	93	1. 2400
2	山口川	S27. 6. 5	741	2. 2800
3	宝満川	S28. 2. 12	139	2. 2100
4	宝満川	S29. 7. 16	1266	1. 8100
5	大根地川	S37. 10. 18	2665	2. 5600
6	宝満川	S37. 10. 18	2665	9. 5500
7	宝満川	S42. 3. 31	1179	1. 8500
8	下西山川	S47. 11. 21	1956	2. 0100
9	杉谷川及び同左支川	S60. 1. 21	85	0. 8100
10	杉谷川	S62. 1. 12	38	1. 2600
11	管ヶ原川	S62. 10. 9	1721	0. 4900
12	杉谷川	H 1. 1. 21	78	0. 8200
13	大石川	H 1. 10. 21	1781	0. 9000
14	小原川	H 2. 3. 9	482	0. 3640
15	浦野谷川	H 2. 12. 12	1996	0. 6000
16	浦野谷川	H 6. 6. 2	1446	0. 4100
17	四郎五郎谷川	H10. 3. 17	646	28. 6300
18	大石谷川	H14. 8. 27	761	1. 2200
19	石輪谷川	H19. 4. 25	518	1. 0187
20	下西山川	H25. 9. 3	836	3. 5303
21	東吉木谷川	H25. 10. 30	1067	2. 7440
22	地祿沢川	H30. 7. 23	952	0. 7996
23	大江谷川	H30. 10. 18	1089	1. 1789
	計			68. 2855

参考資料：福岡県地域防災計画 令和7年3月

《地すべり防止区域一覧》 資料 1.4.10

番号	事務所名	区域名	区域名 ヨミ	所在地	区域 面積	指定 年月日	告示番号	番号
19	那珂	柚須原	ゆすばる	大字柚須原	11. 40	S48. 4. 4	830	

参考資料：福岡県地域防災計画 令和7年3月

《地すべり防止危険箇所一覧》 資料 1.4.11

番号	区域名	水系名	幹川名	所在地	区域 面積 (ha)	勾配	基盤岩の名称	影響 (×千m ³)	人家 (戸)	公共施設への影響 (m)		耕地 (ha)
100	柚須原	筑後川	宝満川	大字柚須原	34. 5	18	花崗岩	674	17	県道 市道	770 470	19
101	香園	筑後川	宝満川	大字香園	50. 4	19	花崗岩	1202	27	県道 市道	410 760	21. 5

参考資料：福岡県地域防災計画 令和7年3月

《落石崩壊箇所》 資料 1.4.12

No.	事務所名	道路種別	路線名	字	施設管理番号	総合評価	対策工法
1	那珂	一国	200号	山家	L200A010	防災カルテ	
2	那珂	一国	200号	山家	L200A020	防災カルテ	
3	那珂	一国	200号	山家	L200A030	防災カルテ	
4	那珂	一国	200号	山家	L200A040	防災カルテ	
5	那珂	一国	200号	山家	L200A050	防災カルテ	
6	那珂	一国	200号	山家	L200A060	防災カルテ	
7	那珂	一国	200号	山家	L200A070	防災カルテ	
8	那珂	一国	200号	山家	L200A080	防災カルテ	
9	那珂	一国	200号	山家	L200A090	防災カルテ	
10	那珂	一国	200号	山家	L200A100	防災カルテ	
11	那珂	一国	200号	山家	L200A110	防災カルテ	
12	那珂	一国	200号	山家	L200A120	防災カルテ	
13	那珂	一国	200号	山家	L200A140	防災カルテ	
14	那珂	一国	200号BP	隈	L200A150	防災カルテ	
15	那珂	一国	200号BP	隈	L200A160	防災カルテ	
16	那珂	主地	久留米基山筑紫野	原田	L017A010	防災カルテ	
17	那珂	主地	久留米基山筑紫野	原田	L017A020	防災カルテ	
18	那珂	主地	久留米基山筑紫野	筑紫	L017A030	防災カルテ	
19	那珂	主地	筑紫野筑穂	大石	L065A010	防災カルテ	
20	那珂	主地	筑紫野筑穂	大石	L065A020	防災カルテ	
21	那珂	主地	筑紫野筑穂	大石	L065A030	防災カルテ	
22	那珂	主地	筑紫野筑穂	大石	L065A040	防災カルテ	
23	那珂	主地	筑紫野筑穂	大石	L065A050	防災カルテ	
24	那珂	主地	筑紫野筑穂	柚須原	L065A070	防災カルテ	
25	那珂	主地	筑紫野太宰府	山家	L076A010	防災カルテ	
26	那珂	主地	筑紫野太宰府	山家	L076A020	防災カルテ	
27	那珂	主地	筑紫野太宰府	山家	L076A030	防災カルテ	
28	那珂	主地	筑紫野太宰府	吉木	L076A130	防災カルテ	
29	那珂	主地	筑紫野太宰府	吉木	L076A140	防災カルテ	
30	那珂	主地	筑紫野太宰府BP	吉木	L076A150	防災カルテ	
31	那珂	主地	筑紫野太宰府BP	原	L076A160	要対策	吹付工
32	那珂	主地	筑紫野三輪	筑紫	L077A010	防災カルテ	
33	那珂	一県	基山停車場平等寺筑紫野	平等寺	L137A010	防災カルテ	
34	那珂	一県	基山停車場平等寺筑紫野	平等寺	L137A020	防災カルテ	
35	那珂	一県	基山停車場平等寺筑紫野	平等寺	L137A040	防災カルテ	
36	那珂	一県	基山停車場平等寺筑紫野	平等寺	L137A050	防災カルテ	
37	那珂	一県	基山停車場平等寺筑紫野	山口	L137A070	防災カルテ	
38	那珂	一県	基山停車場平等寺筑紫野	山口	L137A080	防災カルテ	
39	那珂	一県	基山停車場平等寺筑紫野	山口	L137A090	防災カルテ	
40	那珂	一県	基山停車場平等寺筑紫野	山口	L137A100	防災カルテ	
41	那珂	一県	基山停車場平等寺筑紫野	山口	L137A110	防災カルテ	
42	那珂	一県	基山停車場平等寺筑紫野	山口	L137A120	防災カルテ	
43	那珂	一県	基山停車場平等寺筑紫野	山口	L137A140	防災カルテ	
44	那珂	一県	基山停車場平等寺筑紫野	山口	L137A150	防災カルテ	
45	那珂	一県	基山停車場平等寺筑紫野	山口	L137A160	防災カルテ	
46	那珂	一県	基山停車場平等寺筑紫野	山口	L137A170	防災カルテ	

〈第1章 第4節 災害危険箇所〉

47	那珂	一県	基山停車場平等寺筑紫野	山口	L137A180	防災カルテ	
48	那珂	一県	基山停車場平等寺筑紫野	山口	L137A190	防災カルテ	
49	那珂	一県	基山停車場平等寺筑紫野	山口	L137A200	防災カルテ	
50	那珂	一県	基山停車場平等寺筑紫野	山口	L137A210	防災カルテ	
51	那珂	一県	基山停車場平等寺筑紫野	山口	L137A220	防災カルテ	
52	那珂	一県	基山停車場平等寺筑紫野	山口	L137A230	防災カルテ	
53	那珂	一県	山口原田	筑紫	L582A010	防災カルテ	
54	那珂	一県	山口原田	原田	L582A020	要対策	グラウンドアンカー工
55	那珂	一県	平等寺那珂川	平等寺	L601A010	防災カルテ	擁壁工
56	那珂	一県	平等寺那珂川	平等寺	L601A020	防災カルテ	ブロック積擁壁、法整形工、植生工
57	那珂	一県	平等寺那珂川	平等寺	L601A040	防災カルテ	擁壁工、落石防護柵工
58	那珂	一県	平等寺那珂川	平等寺	L601A060	防災カルテ	擁壁工、落石防護柵工
59	那珂	一県	平等寺那珂川	平等寺	L601A080	防災カルテ	
60	那珂	一県	平等寺那珂川	平等寺	L601A110	防災カルテ	柵工、擁壁工、落石防護柵工
61	那珂	一県	平等寺那珂川	平等寺	L601A120	防災カルテ	
62	那珂	一県	平等寺那珂川	平等寺	L601A130	防災カルテ	擁壁工
63	那珂	一県	平等寺那珂川	平等寺	L601A140	防災カルテ	擁壁工、地表水排除工、その他基礎補強
64	那珂	一県	平等寺那珂川	平等寺	L601A150	防災カルテ	擁壁工、落石防護柵工
65	那珂	一県	平等寺那珂川	平等寺	L601A160	防災カルテ	擁壁工
66	那珂	一県	平等寺那珂川	平等寺	L601A170	防災カルテ	擁壁工、落石防護柵工
67	那珂	一県	平等寺那珂川	平等寺	L601A180	防災カルテ	擁壁工
68	那珂	一県	平等寺那珂川	平等寺	L601A190	防災カルテ	擁壁工
69	那珂	一県	平等寺那珂川	平等寺	L601A200	防災カルテ	擁壁工
70	那珂	一県	平等寺那珂川	平等寺	L601A220	防災カルテ	擁壁、吹付け工、落石防護柵工
71	那珂	一県	平等寺那珂川	平等寺	L601A230	防災カルテ	擁壁工、表面水排除工
72	那珂	一県	平等寺那珂川	平等寺	L601A240	防災カルテ	擁壁工
73	那珂	一県	平等寺那珂川	平等寺	L601A250	防災カルテ	擁壁工、落石防護柵工、除石工
74	那珂	一県	平等寺那珂川	平等寺	L601A260	防災カルテ	柵工、グラウンドアンカー工
75	那珂	一県	平等寺那珂川	平等寺	L601A270	防災カルテ	法整形工、モルタル吹付け工
76	那珂	一県	平等寺那珂川	平等寺	L601A280	防災カルテ	擁壁工
77	那珂	一県	平等寺那珂川	平等寺	L601A290	防災カルテ	擁壁工、落石防護柵工
78	那珂	一県	平等寺那珂川	平等寺	L601A300	防災カルテ	擁壁工
79	那珂	一県	平等寺那珂川	平等寺	L601A310	防災カルテ	擁壁工、落石防護柵工
80	那珂	一県	平等寺那珂川	平等寺	L601A320	防災カルテ	擁壁工、その他基礎補強
81	那珂	一県	平等寺那珂川	平等寺	L601A330	防災カルテ	擁壁工
82	那珂	一県	平等寺那珂川	平等寺	L601A340	防災カルテ	擁壁工
83	那珂	一県	平等寺那珂川	平等寺	L601A350	防災カルテ	擁壁工
84	那珂	一県	平等寺那珂川	平等寺	L601A360	防災カルテ	擁壁工
				合計	84カ所		

参考資料：福岡県地域防災計画 令和7年3月
道路防災危険箇所より落石崩壊を抜粋

《山地災害（山腹崩壊）危険地区一覧》 資料 1. 4. 13

(民有林)

No.	市町村 コード	位 置	保全対象			危険度 ランク
			人家戸数	公共施設	道路	
1	40217	山口2536-1	7		県道	C
2	40217	平等寺1300-4	5	1		B
3	40217	平等寺1559	18			B
4	40217	平等寺1602-1	37		県道	A
5	40217	平等寺682	39		県道	A
6	40217	山口2294	7			A
7	40217	山口2117	10		県道	B
8	40217	山口2087-1	2		県道	C
9	40217	山口2022	41		県道	A
10	40217	山口1949-1	24			B
11	40217	山口973-1	9			C
12	40217	山口930-1	10		県道	B
13	40217	山口850-1	3			C
14	40217	山口802	30		県道	B
15	40217	山口51-1	18		県道	B
16	40217	山口200-3	20	1	県道	A
17	40217	古賀249	22			B
18	40217	古賀425-6	14		県道	B
19	40217	武蔵683	6			C
20	40217	阿志岐2498-2	16		県道	B
21	40217	阿志岐2410-2	9		県道	C
22	40217	吉木2205-1	2		県道	C
23	40217	原466-1	13		県道	B
24	40217	原351	12		県道	B
25	40217	原436-7、9	1	1		B
26	40217	吉木2620	18		県道	B
27	40217	大石440	9		県道	C
28	40217	大石600-2	14			B
29	40217	本道寺765	4		県道	C
30	40217	本道寺348	6			C
31	40217	柚須原223-32	10			B
32	40217	香園123-1	8			C
33	40217	大石239	12		県道	A
34	40217	吉木914-7				C

35	40217	阿志岐546-1	3			C
36	40217	阿志岐494-1	4			C
37	40217	阿志岐1134-1	3			C
38	40217	山家1592	1		国道	C
39	40217	山家1485-1	15			A
40	40217	山家1270	19			B
41	40217	山家1196	3			C
42	40217	山家1160-1	3			C
43	40217	山家941-1			国道	C
44	40217	山家941-1	5			C
45	40217	山家640-1	8			C
46	40217	山家248-1	6		国道	C
47	40217	山家	2		国道	C
48	40217	山家494				C
49	40217	山家540-1	10		市道	B
	合計	49箇所	538	3		

参考資料：福岡県地域防災計画 令和7年3月

《山地災害（崩壊土砂流出）危険地区一覧》 資料 1.4.13 (2)

(国有林)

No.	県 箇所番号	位 置 大字	保全対象			危険度 ランク	地区面積 (ha)
			人家戸数	公共施設	道路・鉄道等		
1	40217-10	山家	25		国道		
2	40217-20	山家	26		国道		
3	40217-30	柚須原	50		県道		
	合計	3箇所	101				

参考資料：福岡県地域防災計画 令和7年3月

《山地災害（崩壊土砂流出）危険地区一覧》 資料 1.4.13 (3)

(民有林)

No.	市町村 コード	位 置	保全対象			危険度 ランク
			人家戸数	公共施設	道路	
1	40217	萩原1046-1	18			B
2	40217	萩原1117-10	32	1	県道	B
3	40217	萩原3732-1	45		県道	A
4	40217	山口3381-1	66		県道	A
5	40217	山口3381-3	24		県道	B
6	40217	山口2721-1	6		県道	B
7	40217	平等寺42-20	2		県道	C
8	40217	平等寺1367	1		県道	C
9	40217	平等寺1368-1	38		県道	A
10	40217	平等寺1714-77	14		県道	B
11	40217	平等寺1714-1			県道	C
12	40217	平等寺1822-6				C
13	40217	平等寺1832-6				C
14	40217	山口2184-7	11		県道	B
15	40217	山口2143-1	12		県道	B
16	40217	山口495-9				C
17	40217	古賀132-9	9	2	県道	B
18	40217	古賀259	40	1	県道	A
19	40217	武蔵754-1	26		県道	A
20	40217	塔原259	50	3	県道	B
21	40217	塔原813-2	47			A
22	40217	原319	38	1	県道	B
23	40217	吉木2701-1	23		県道	A
24	40217	大石763	29		県道	B
25	40217	大石742	34		県道	B
26	40217	大石795	41	1	県道	A
27	40217	大石669-9	11		県道	B
28	40217	本道寺631-16	24		県道	B
29	40217	本道寺268-4	27		県道	B
30	40217	本道寺334-1	40		県道	B
31	40217	柚須原407-401	12		県道	A
32	40217	柚須原407-72	10		県道	A
33	40217	柚須原407-146	8		県道	B
34	40217	柚須原429-1	11		県道	A
35	40217	香園1	5		県道	A
36	40217	香園388-21	6		県道	C
37	40217	香園388-63	19		県道	A
38	40217	香園388-44	18		県道	A
39	40217	大石198-7	19		県道	A
40	40217	吉木1152-43	76			A
41	40217	吉木652-53	24	1	県道	B

〈第1章 第4節 災害危険箇所〉

42	40217	阿志岐1-42	49	2		A
43	40217	山家2461-9	31		県道	B
44	40217	山家2014-17				C
45	40217	山家1815-22	26			B
46	40217	山家1433-75	20			B
47	40217	山家1145-1	3		国道	C
48	40217	山家1145-23	1		国道	C
49	40217	山家1433-66	2		国道	C
50	40217	山家690-26	5		国道	B
51	40217	山家3230-1	2		国道	C
52	40217	山家1024-14	17		国道	A
	合計	52箇所	1072	12		

参考資料：福岡県地域防災計画 令和7年3月

《道路危険箇所一覧》 資料 1.4.14 (1)

No	事務所名	道路種別	路線名	字	施設管理番号	総合評価	危険内容	対策工法摘要
1	那珂	一国	200号	山家	L200A010	防災カテ	落石崩壊	
2	那珂	一国	200号	山家	L200A020	防災カテ	落石崩壊	
3	那珂	一国	200号	山家	L200A030	防災カテ	落石崩壊	
4	那珂	一国	200号	山家	L200A040	防災カテ	落石崩壊	
5	那珂	一国	200号	山家	L200A050	防災カテ	落石崩壊	
6	那珂	一国	200号	山家	L200A060	防災カテ	落石崩壊	
7	那珂	一国	200号	山家	L200A070	防災カテ	落石崩壊	
8	那珂	一国	200号	山家	L200A080	防災カテ	落石崩壊	
9	那珂	一国	200号	山家	L200A090	防災カテ	落石崩壊	
10	那珂	一国	200号	山家	L200A100	防災カテ	落石崩壊	
11	那珂	一国	200号	山家	L200A110	防災カテ	落石崩壊	
12	那珂	一国	200号	山家	L200A120	防災カテ	落石崩壊	
13	那珂	一国	200号	山家	L200A140	防災カテ	落石崩壊	
14	那珂	一国	200号BP	限	L200A150	防災カテ	落石崩壊	
15	那珂	一国	200号BP	限	L200A160	防災カテ	落石崩壊	
16	那珂	一国	200号	山家	L200F010	防災カテ	盛土	
17	那珂	一国	200号	山家	L200F020	防災カテ	盛土	
18	那珂	一国	200号	山家	L200F030	防災カテ	盛土	
19	那珂	一国	200号	山家	L200F040	防災カテ	盛土	
20	那珂	一国	200号	山家	L200G010	防災カテ	擁壁	
21	那珂	一国	200号	山家	L200G020	防災カテ	擁壁	
22	那珂	一国	200号BP	限	L200G030	防災カテ	擁壁	
23	那珂	一国	200号BP	限	L200G040	防災カテ	擁壁	
24	那珂	一国	200号	山家	L200H010	防災カテ	橋梁基礎の洗掘	
25	那珂	主地	久留米基山筑紫野	原田	L017A010	防災カテ	落石崩壊	
26	那珂	主地	久留米基山筑紫野	原田	L017A020	防災カテ	落石崩壊	
27	那珂	主地	久留米基山筑紫野	筑紫	L017A030	防災カテ	落石崩壊	
28	那珂	主地	久留米基山筑紫野	原田	L017F010	防災カテ	盛土	
29	那珂	主地	久留米基山筑紫野	原田	L017F020	防災カテ	盛土	
30	那珂	主地	久留米基山筑紫野	筑紫	L017F030	防災カテ	盛土	
31	那珂	主地	久留米基山筑紫野	永岡	L017F040	防災カテ	盛土	
32	那珂	主地	久留米基山筑紫野	立明寺	L017G010	防災カテ	擁壁	
33	那珂	主地	久留米筑紫野BP	常松	L053G010	防災カテ	擁壁	
34	那珂	主地	久留米筑紫野BP	常松	L053G020	防災カテ	擁壁	
35	那珂	主地	久留米筑紫野	西小田	L053H010	要対策	橋梁基礎の洗掘	橋梁基礎の根固工
36	那珂	主地	筑紫野筑穂	大石	L065A010	防災カテ	落石崩壊	
37	那珂	主地	筑紫野筑穂	大石	L065A020	防災カテ	落石崩壊	
38	那珂	主地	筑紫野筑穂	大石	L065A030	防災カテ	落石崩壊	

39	那珂	主地	筑紫野筑穂	大石	L065A040	防災カテ	落石崩壊	
40	那珂	主地	筑紫野筑穂	大石	L065A050	防災カテ	落石崩壊	
41	那珂	主地	筑紫野筑穂	柚須原	L065A070	防災カテ	落石崩壊	
42	那珂	主地	筑紫野筑穂	柚須原	L065F010	防災カテ	盛土	
43	那珂	主地	筑紫野筑穂	柚須原	L065F020	防災カテ	盛土	
44	那珂	主地	筑紫野筑穂	紫	L065G010	防災カテ	擁壁	
45	那珂	主地	筑紫野筑穂	大石	L065G040	防災カテ	擁壁	
46	那珂	主地	筑紫野筑穂	大石	L065G050	防災カテ	擁壁	
47	那珂	主地	筑紫野筑穂	大石	L065G060	防災カテ	擁壁	
48	那珂	主地	筑紫野筑穂	本導寺	L065G070	防災カテ	擁壁	
49	那珂	主地	筑紫野筑穂	本導寺	L065G080	防災カテ	擁壁	
50	那珂	主地	筑紫野筑穂	本導寺	L065G090	防災カテ	擁壁	
51	那珂	主地	筑紫野筑穂	柚須原	L065G100	防災カテ	擁壁	
52	那珂	主地	筑紫野筑穂	柚須原	L065G110	防災カテ	擁壁	
53	那珂	主地	筑紫野筑穂	柚須原	L065G120	防災カテ	擁壁	
54	那珂	主地	筑紫野筑穂	柚須原	L065G130	防災カテ	擁壁	
55	那珂	主地	筑紫野筑穂	柚須原	L065G140	防災カテ	擁壁	
56	那珂	主地	筑紫野筑穂	柚須原	L065G150	防災カテ	擁壁	
57	那珂	主地	筑紫野太宰府	山家	L076A010	防災カテ	落石崩壊	
58	那珂	主地	筑紫野太宰府	山家	L076A020	防災カテ	落石崩壊	
59	那珂	主地	筑紫野太宰府	山家	L076A030	防災カテ	落石崩壊	
60	那珂	主地	筑紫野太宰府	吉木	L076A130	防災カテ	落石崩壊	
61	那珂	主地	筑紫野太宰府	吉木	L076A140	防災カテ	落石崩壊	
62	那珂	主地	筑紫野太宰府 BP	吉木	L076A150	防災カテ	落石崩壊	
63	那珂	主地	筑紫野太宰府 BP	原	L076A160	要対策	落石崩壊	吹付工
64	那珂	主地	筑紫野太宰府	山家	L076F010	防災カテ	盛土	
65	那珂	主地	筑紫野太宰府 BP	山家	L076F020	防災カテ	盛土	
66	那珂	主地	筑紫野太宰府	原	L076G010	防災カテ	擁壁	
67	那珂	主地	筑紫野太宰府	原	L076G020	防災カテ	擁壁	
68	那珂	主地	筑紫野太宰府	原	L076G030	防災カテ	擁壁	
69	那珂	主地	筑紫野太宰府	原	L076G040	防災カテ	擁壁	
70	那珂	主地	筑紫野三輪	筑紫	L077A010	防災カテ	落石崩壊	
71	那珂	主地	筑紫野三輪	山家	L077G010	防災カテ	擁壁	擁壁工、ブロック積
72	那珂	一県	福岡日田	永岡	L112G010	防災カテ	擁壁	擁壁工
73	那珂	一県	福岡日田	常松	L112G020	防災カテ	擁壁	擁壁工
74	那珂	一県	福岡日田	常松	L112G030	防災カテ	擁壁	擁壁工
75	那珂	一県	基山停車場平 等寺筑紫野	平等寺	L137A010	防災カテ	落石崩壊	
76	那珂	一県	基山停車場平 等寺筑紫野	平等寺	L137A020	防災カテ	落石崩壊	
77	那珂	一県	基山停車場平 等寺筑紫野	平等寺	L137A040	防災カテ	落石崩壊	
78	那珂	一県	基山停車場平 等寺筑紫野	平等寺	L137A050	防災カテ	落石崩壊	
79	那珂	一県	基山停車場平 等寺筑紫野	山口	L137A070	防災カテ	落石崩壊	
80	那珂	一県	基山停車場平 等寺筑紫野	山口	L137A080	防災カテ	落石崩壊	
81	那珂	一県	基山停車場平 等寺筑紫野	山口	L137A090	防災カテ	落石崩壊	

82	那珂	一県	基山停車場平等寺筑紫野	山口	L137A100	防災カテ	落石崩壊	
83	那珂	一県	基山停車場平等寺筑紫野	山口	L137A110	防災カテ	落石崩壊	
84	那珂	一県	基山停車場平等寺筑紫野	山口	L137A120	防災カテ	落石崩壊	
85	那珂	一県	基山停車場平等寺筑紫野	山口	L137A140	防災カテ	落石崩壊	
86	那珂	一県	基山停車場平等寺筑紫野	山口	L137A150	防災カテ	落石崩壊	
87	那珂	一県	基山停車場平等寺筑紫野	山口	L137A160	防災カテ	落石崩壊	
88	那珂	一県	基山停車場平等寺筑紫野	山口	L137A170	防災カテ	落石崩壊	
89	那珂	一県	基山停車場平等寺筑紫野	山口	L137A180	防災カテ	落石崩壊	
90	那珂	一県	基山停車場平等寺筑紫野	山口	L137A190	防災カテ	落石崩壊	
91	那珂	一県	基山停車場平等寺筑紫野	山口	L137A200	防災カテ	落石崩壊	
92	那珂	一県	基山停車場平等寺筑紫野	山口	L137A210	防災カテ	落石崩壊	
93	那珂	一県	基山停車場平等寺筑紫野	山口	L137A220	防災カテ	落石崩壊	
94	那珂	一県	基山停車場平等寺筑紫野	山口	L137A230	防災カテ	落石崩壊	
95	那珂	一県	基山停車場平等寺筑紫野	山口	L137F010	防災カテ	盛土	
96	那珂	一県	基山停車場平等寺筑紫野	山口	L137F030	防災カテ	盛土	
97	那珂	一県	基山停車場平等寺筑紫野	山口	L137G020	防災カテ	擁壁	擁壁前面洗掘防止工
98	那珂	一県	基山停車場平等寺筑紫野	山口	L137G030	防災カテ	擁壁	
99	那珂	一県	基山停車場平等寺筑紫野	山口	L137G040	防災カテ	擁壁	
100	那珂	一県	基山停車場平等寺筑紫野	山口	L137G050	防災カテ	擁壁	
101	那珂	一県	基山停車場平等寺筑紫野	山口	L137H010	防災カテ	橋梁基礎の洗掘	
102	那珂	一県	山口原田	筑紫	L582A010	防災カテ	落石崩壊	
103	那珂	一県	山口原田	原田	L582A020	要対策	落石崩壊	グラウンドアンカー工
104	那珂	一県	山家西小田	峠	L595F010	防災カテ	盛土	
105	那珂	一県	山家西小田	峠	L595G010	防災カテ	擁壁	
106	那珂	一県	山家西小田	峠	L595G020	防災カテ	擁壁	擁壁工
107	那珂	一県	山家西小田	峠	L595G030	防災カテ	擁壁	
108	那珂	一県	平等寺那珂川	平等寺	L601A010	防災カテ	落石崩壊	擁壁工
109	那珂	一県	平等寺那珂川	平等寺	L601A020	防災カテ	落石崩壊	ブロック積擁壁、法整形工、植生工
110	那珂	一県	平等寺那珂川	平等寺	L601A040	防災カテ	落石崩壊	擁壁工、落石防護柵工
111	那珂	一県	平等寺那珂川	平等寺	L601A060	防災カテ	落石崩壊	擁壁工、落石防護柵工
112	那珂	一県	平等寺那珂川	平等寺	L601A080	防災カテ	落石崩壊	
113	那珂	一県	平等寺那珂川	平等寺	L601A110	防災カテ	落石崩壊	柵工、擁壁工、落石防護柵工
114	那珂	一県	平等寺那珂川	平等寺	L601A120	防災カテ	落石崩壊	
115	那珂	一県	平等寺那珂川	平等寺	L601A130	防災カテ	落石崩壊	擁壁工

〈第1章 第4節 災害危険箇所〉

116	那珂	一県	平等寺那珂川	平等寺	L601A140	防災カルテ	落石崩壊	擁壁工、地表水排除工、その他基礎補強
117	那珂	一県	平等寺那珂川	平等寺	L601A150	防災カルテ	落石崩壊	擁壁工、落石防護柵工
118	那珂	一県	平等寺那珂川	平等寺	L601A160	防災カルテ	落石崩壊	擁壁工
119	那珂	一県	平等寺那珂川	平等寺	L601A170	防災カルテ	落石崩壊	擁壁工、落石防護柵工
120	那珂	一県	平等寺那珂川	平等寺	L601A180	防災カルテ	落石崩壊	擁壁工
121	那珂	一県	平等寺那珂川	平等寺	L601A190	防災カルテ	落石崩壊	擁壁工
122	那珂	一県	平等寺那珂川	平等寺	L601A200	防災カルテ	落石崩壊	擁壁工
123	那珂	一県	平等寺那珂川	平等寺	L601A220	防災カルテ	落石崩壊	擁壁、吹付け工、落石防護網工
124	那珂	一県	平等寺那珂川	平等寺	L601A230	防災カルテ	落石崩壊	擁壁工、表面水排除工
125	那珂	一県	平等寺那珂川	平等寺	L601A240	防災カルテ	落石崩壊	擁壁工
126	那珂	一県	平等寺那珂川	平等寺	L601A250	防災カルテ	落石崩壊	擁壁工、落石防護柵工、除石工
127	那珂	一県	平等寺那珂川	平等寺	L601A260	防災カルテ	落石崩壊	枠工、グラウトアンカー工
128	那珂	一県	平等寺那珂川	平等寺	L601A270	防災カルテ	落石崩壊	法整形工、モルタル吹付工
129	那珂	一県	平等寺那珂川	平等寺	L601A280	防災カルテ	落石崩壊	擁壁工
130	那珂	一県	平等寺那珂川	平等寺	L601A290	防災カルテ	落石崩壊	擁壁工、落石防護柵工
131	那珂	一県	平等寺那珂川	平等寺	L601A300	防災カルテ	落石崩壊	擁壁工
132	那珂	一県	平等寺那珂川	平等寺	L601A310	防災カルテ	落石崩壊	擁壁工、落石防護柵工
133	那珂	一県	平等寺那珂川	平等寺	L601A320	防災カルテ	落石崩壊	擁壁工、その他基礎補強
134	那珂	一県	平等寺那珂川	平等寺	L601A330	防災カルテ	落石崩壊	擁壁工
135	那珂	一県	平等寺那珂川	平等寺	L601A340	防災カルテ	落石崩壊	擁壁工
136	那珂	一県	平等寺那珂川	平等寺	L601A350	防災カルテ	落石崩壊	擁壁工
137	那珂	一県	平等寺那珂川	平等寺	L601A360	防災カルテ	落石崩壊	擁壁工
138	那珂	一県	平等寺那珂川	平等寺	L601E010	防災カルテ	土石流	河道横断施設対策
139	那珂	一県	平等寺那珂川	平等寺	L601E030	防災カルテ	土石流	河道横断施設対策
140	那珂	一県	平等寺那珂川	平等寺	L601F010	防災カルテ	盛土	地表水排除工
141	那珂	一県	平等寺那珂川	平等寺	L601F020	防災カルテ	盛土	地表水排除工
142	那珂	一県	平等寺那珂川	平等寺	L601F040	防災カルテ	盛土	擁壁工
143	那珂	一県	平等寺那珂川	平等寺	L601G030	防災カルテ	擁壁	擁壁工
144	那珂	一県	平等寺那珂川	平等寺	L601G040	防災カルテ	擁壁	擁壁工、その他基礎補強
145	那珂	一県	平等寺那珂川	平等寺	L601G050	防災カルテ	擁壁	その他基礎補強、地表水排除工
				合計	145箇所			

参考資料：福岡県地域防災計画 令和7年3月

《道路危険箇所(市道)一覧》 資料 1.4.14 (2)

No.	道路種別	種別	路線名	字	施設管理番号	総合評価	危険内容	対策工法
1	6006		小山川・栗田	原	6006-A001	要対策	落石崩壊	重力式擁壁
2	6006		小山川・栗田	吉木	6006-A002	要対策	〃	のり枠
3	6012		抗原・稲荷田	山家	6012-A001	要対策	〃	のり枠
4	7004		上内田・水上	大石	7004-A001	要対策	〃	のり枠
5	7008		神手・鳥越	山家	7008-A002	要対策	〃	のり枠
6	7008		神手・鳥越	山家	7008-A003	要対策	〃	のり枠
7	7008		神子・鳥越	山家	7008-A004	要対策	〃	のり枠
8	7008		神手・鳥越	山家	7008-A005	要対策	〃	ブロック積
9	7008		神手・鳥越	山家	7008-A006	要対策	〃	のり枠
10	7009		平田・尾畑	山家	7009-A001	要対策	〃	ブロック積
11	7031		野田・姉ヶ久保	山口	7031-A002	要対策	〃	擁壁・スガード
12	7031		野田・姉ヶ久保	山口	7031-A004	要対策	〃	ブロック積
13	7033		中尾・森の向	山口	7033-A002	要対策	〃	のり枠
14	7033		中尾・森の向	山口	7033-A005	要対策	〃	のり枠
15	7033		中尾・森の向	山口	7033-A006	要対策	〃	もたれ擁壁
16	7033		中尾・森の向	山口	7033-A007	要対策	〃	重力式
17	7034		池の淵・内の尾	平等寺	7034-A001	要対策	〃	ブロック積
18	7034		池の淵・内の尾	平等寺	7034-A003	要対策	〃	のり枠
19	7034		池の淵・内の尾	平等寺	7034-A004	要対策	〃	モルタル吹付け
20	7034		池の淵・内の尾	平等寺	7034-A005	要対策	〃	ブロック積
21	7034		池の淵・内の尾	平等寺	7034-A006	要対策	〃	のり枠
22	8159	その他	鬼の面・鯉石1号	曙		要対策	〃	位置：ゲッター横
23	8197	その他	加勢分2号	松ヶ浦		要対策	石積崩壊	位置：松ヶ浦入口
				合計	23箇所			

資料；H9年9月 道路防災総点検業務委託資料（A1ランク）平成18年4月1日現在

《土砂災害警戒区域・特別警戒区域》 資料 1.4.15

本資料編には、土砂災害防止法にもとづき土砂災害警戒区域・特別警戒区域の数を示す。箇所毎の詳細については、告示図書及び県砂防課ホームページを参照すること。

指定日	土石流		急傾斜		地すべり	
	土砂災害警戒区域	うち特別警戒区域	土砂災害警戒区域	うち特別警戒区域	土砂災害警戒区域	うち特別警戒区域
平成22年8月25日	88	78	108	105	0	0
平成23年1月7日	1	0	2	2	0	0
平成26年3月28日	19	18	132	124	2	0
平成27年11月17日 (解除)	-1	-1	-2	-2	0	0
平成27年11月17日	1	1	8	7	0	0
平成29年9月29日 (解除)	0	0	-1	-1	0	0
平成29年9月29日	0	0	1	1	0	0
平成29年12月22日 (解除)	0	0	-1	-1	0	0
平成30年1月5日 (解除)	0	0	-1	-1	0	0
平成30年1月5日	0	0	1	0	0	0
令和元年8月2日 (解除)	0	0	-1	-1	0	0
令和元年8月2日	0	0	1	1	0	0
令和3年3月2日 (解除)	0	0	-2	-2	0	0
令和3年3月2日	0	0	2	1	0	0
令和4年3月29日 (解除)	0	0	-4	-4	0	0
令和4年3月29日	0	0	4	3	0	0
令和4年9月16日 (解除)	0	0	-1	-1	0	0
令和4年9月16日	0	0	1	1	0	0
令和7年10月24日 (解除)	-2	-2	-1	-1	0	0
令和7年10月24日	2	0	1	1	0	0

合計	土石流		急傾斜		地すべり	
	土砂災害警戒区域	うち特別警戒区域	土砂災害警戒区域	うち特別警戒区域	土砂災害警戒区域	うち特別警戒区域
	108	94	247	232	2	0

《 個別気象概況 》 資料 1.5.1

主な過去災害における気象及び被害記録を以下に示す。

- | | |
|----------------------|----------|
| 1) 平成3年9月12日～9月15日 | (台風第17号) |
| 2) 平成3年9月25日～9月28日 | (台風第19号) |
| 3) 平成7年6月30日～7月6日 | (梅雨前線) |
| 4) 平成9年7月7日～7月13日 | (梅雨前線) |
| 5) 平成11年6月22日～7月13日 | (梅雨前線) |
| 6) 平成13年7月11日～7月13日 | (梅雨前線) |
| 7) 平成15年7月18日～7月21日 | (梅雨前線) |
| 8) 平成16年9月7日 | (台風第18号) |
| 9) 平成18年9月17日 | (台風第13号) |
| 10) 平成20年8月4日 | (大雨) |
| 11) 平成21年7月24日～8月6日 | (大雨) |
| 12) 平成22年7月11日～7月16日 | (大雨) |
| 13) 平成26年8月21日～8月22日 | (大雨) |
| 14) 平成30年7月5日～7月8日 | (大雨) |

1. 平成3年9月12日～9月15日（台風第17号による強風・大雨）

《気象概況》

9月11日グアム島の西海上で発生した台風17号は、日本の南海上を西進後、進行方向を変えて13日には沖縄を通過した。台風は速度を速めながらさらに東シナ海を北上し、14日5時30分頃長崎市付近に上陸した。台風の中心気圧は965hPa、中心付近の最大風速は35m/s、風速は25m/s以上の暴風域の半径110km、風速15m/s以上の強風域の半径390kmで「中型で強い」勢力を保っていた。台風は長崎県へ上陸後北北東へ進み佐賀県を經由して、中心が8時頃福岡市付近を、また9時頃北九州の北を通過した。その後台風は山口県を通過して萩市付近から日本海へ抜けた。

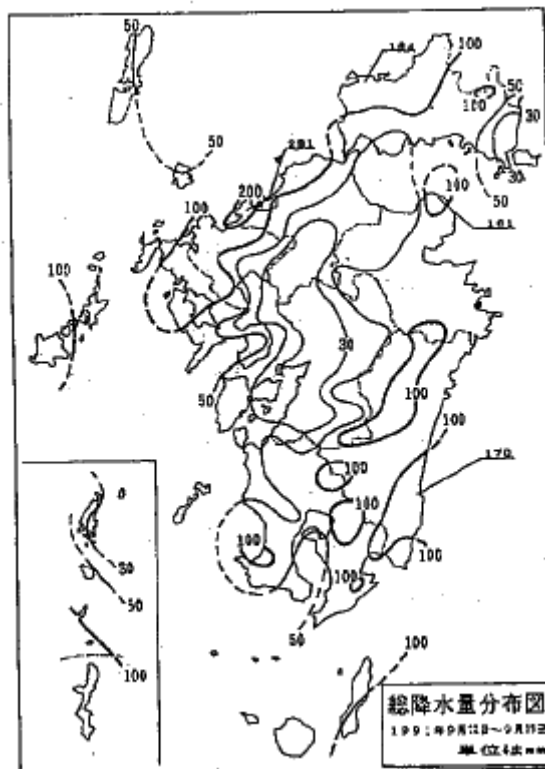
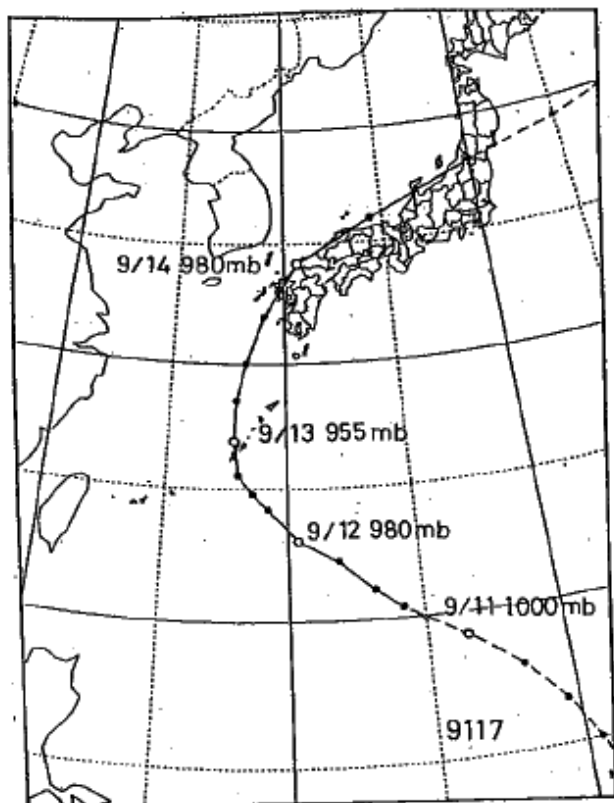
福岡でのこの台風の極値は次の通りである。

- | | |
|---------|------------|
| ・最低気圧 | 976.6hPa |
| ・最大風速 | NNW23.3m/s |
| ・最大瞬間風速 | NNW40.8m/s |

また、九州の南海上に停滞していた前線が台風とともに北上し、活動が活発になったため、九州北部各県と山口県における雨量は100mm前後であったが、台風の中心の通過経路に近かった地域では局地的な大雨が降ったところもあった。前原市では、14日6時から7時までの1時間に147mmの記録的な雨量も観測された（1時間最大降水量としては観測開始以来第1位の記録）。福岡県での最大日雨量は福岡県西部で280mmと群を抜いており、その他の観測所でも福岡83mm、宗像151mm、八幡108mm、粕屋郡篠栗95mmとなっている。

【経路図 台風17号 9月11日～9月14日】

【天気図 9月12日～9月15日】



《被害状況》

台風17号の通過により九州地方を中心に暴風による被害が発生し、死亡者の多くが強風に伴う家屋の倒壊または飛来物による。また、活発化した前線による雨と台風による雨が加わり、河川の氾濫、山・崖崩れなどのために多くの被害を蒙った。福岡県では死者3人、重傷者36人、軽傷者89人の人的被害、また住家被害として全壊7棟、半壊136棟、一部損壊67,674棟、床上浸水358棟、床下浸水1,126棟の被害が発生している。このほか、交通機関・農業関係等にも被害が相次いだ。

集中豪雨に見舞われた前原市には災害救助法が適用された。

この台風による福岡県の被害状況は次の通りである。

- ・ 人的被害 死者3人 重傷者36人 軽傷者89人
- ・ 住家被害 全壊7棟 半壊136棟 一部損壊67,674棟
- 床上浸水358棟 床下浸水1,126棟
- ・ 非住家被害 公共建物283棟 その他16,493棟
- ・ その他 田流出・埋没29.50ha 田冠水839.51ha
- 畑流出・埋没5.27ha 畑冠水4.50ha
- 道路損壊671箇所 橋梁31箇所
- 崖崩れ37箇所 鉄道不通3箇所
- 被害船舶30隻 電話2,002回線
- 水道(断水)146戸 電気(停電)20,384戸
- 農業被害201億円 林業関係被害25.1億円
- 水産業関係被害6.7億円
- ・ 福岡県災害対策本部 設置 9月14日9時
- 解散 9月14日17時

また、筑紫野市における被害状況は次の通りである。

- | | | |
|--------------|------------|-----------|
| ・人的被害 | 軽傷者 3 人 | |
| ・住家被害 | 一部損壊 35 棟 | |
| ・消防本部の災害出動件数 | 風水害出動 17 件 | 火災出動 1 件 |
| | 救急活動 3 件 | |
| ・消防分団の活動状況 | 活動分団数 1 分団 | 活動延人数 5 人 |
| | 活動車両 1 台 | |

2. 平成3年9月25日～9月28日（台風第19号による暴風）

《気象概況》

9月13日マーシャル諸島の海上で発生した台風第19号は発達しながらゆっくり西に進んだ。その後進行方向を次第に北に向けて26日に沖縄県の宮古島のすぐ東を通って東シナ海を北上、27日9時には北緯30度に達した。台風は進行速度を速めながら九州の西海上を北北東に進み、16時過ぎ長崎県佐世保市の南に上陸した。台風は上陸後、佐賀県を經由して17時30分頃福岡市付近、18時頃北九州市付近を通過、進行速度をさらに速めながら山口県から日本海へ進んだ。上陸時の台風第19号の中心気圧は940hPa、中心付近の最大風速は50m/sと非常に勢力が強かった。台風の中心気圧が940hPa以下のまま九州に上陸したのは、昭和46年8月29日に鹿児島県に上陸した台風第23号以来20年ぶりのことであった。

台風第19号は非常に強い勢力を保ったまま九州に上陸・通過したため九州北部地方を中心に各地で記録的な暴風が吹いた。福岡では18時47分に最大瞬間風速44.6m/s、20時10分に最大風速18.3m/sを記録した。また、飯塚では最大瞬間風速48.3m/sと観測開始以来第1位の記録を更新した。

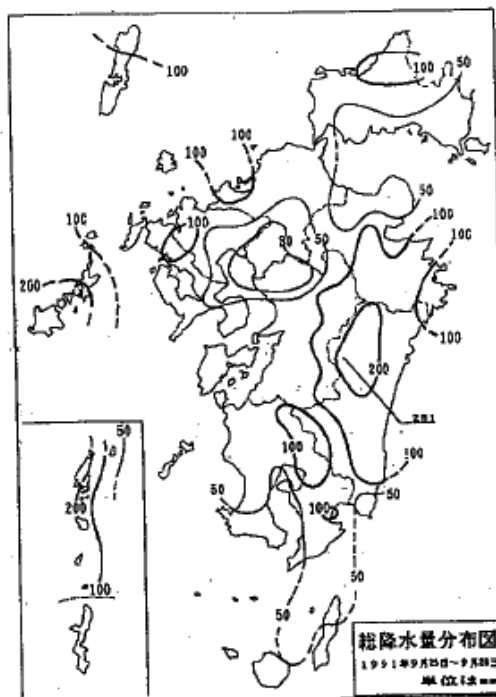
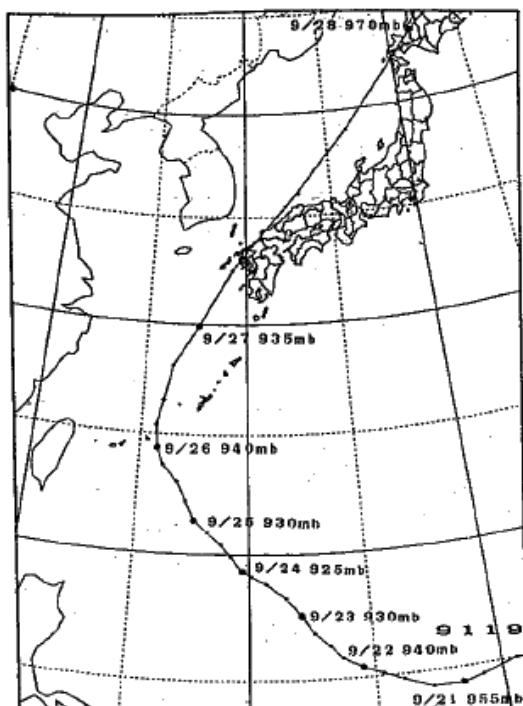
台風による強い雨は福岡・北九州地方の沿岸を中心に降り、福岡では27日16時20分～17時20分の1時間に53.5mmの雨量を観測し、9月の最大1時間雨量の記録を更新した。

福岡におけるこの台風の極値は、以下の通りである。

- | | |
|----------|-----------------------|
| ・最低気圧 | 942.8hPa（27日17時23分） |
| ・最大風速 | NNW18.3m/s（27日20時10分） |
| ・最大瞬間風速 | NNW44.6m/s（27日18時47分） |
| ・日最大雨量 | 97.5mm（27日） |
| ・最大1時間雨量 | 53.5mm（27日17時20分まで） |

【経路図 台風 19号 9月21日～9月28日】

【天気図 9月25日～9月28日】



《被害状況》

台風第19号は近年に例を見ない“風台風”であったため、福岡県下では人的・住家・農林水産業・交通・電気通信等に被害が多数発生した。人的被害としては、飛来物の直撃や倒壊した家の下敷きになって死亡・負傷する例が多く、また、博多港内で韓国の貨物船が強風で流され、防波堤に衝突、沈没しゴムボートで避難中転覆して4人が死亡、6人が負傷した。このほか、強風により停電、断水の被害が続出し、給水のため自衛隊の派遣が要請された。

福岡県における被害状況は次の通りである。

- ・ 人的被害 死亡 11人 重傷者 97人 軽傷者 669人
- ・ 住家被害 全壊 263棟 半壊 4,042棟
 一部損壊 177,064棟 床上浸水 58棟
 床下浸水 99棟 非住家被害
- ・ その他 公共建物 1,481棟 その他 44,301棟
 田流出・埋没 1.13ha 田冠水 304.0ha
 畑流出・埋没 1.56ha 畑冠水 12.0ha
 道路損壊 647箇所 橋梁 17箇所
 崖崩れ 31箇所 鉄道不通 8箇所
 被害船舶 145隻 電話 46,967回線
 水道（断水） 39,278戸 電気（停電） 119,925戸
 農業被害 279.5億円 林業関係被害 327.8億円
 水産関係被害 19.1億円
- ・ 福岡県災害対策本部 設置 9月27日14時
 解散 9月28日13時

《被害状況》

福岡県における被害状況は次の通りである。

- ・住家被害

全壊 1 棟	半壊 1 棟
一部損壊 6 棟	
床上浸水 11 棟	床下浸水 63 棟

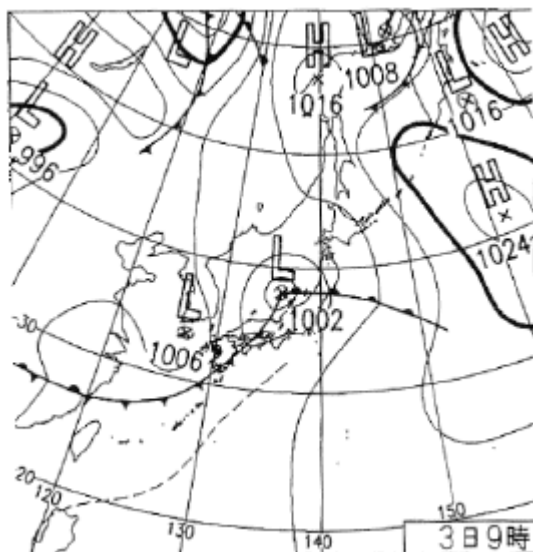
また、筑紫野市における被害状況は次の通りである。

- ・住家被害

床下浸水 1 棟

5. 平成 11 年 6 月 22 日～7 月 3 日（梅雨前線による大雨）

【天気図 7 月 3 日】



《気象概況》

6 月 23 日から 7 月 3 日にかけて、梅雨前線の活動が活発となり、西日本から北日本にかけて、断続的に大雨となった。特に 28 日から 29 日にかけて、中部地方、中国地方、九州地方北部などでは 1 時間に 100mm 近い激しい雨が降った。期間降水量は、九州地方から中部地方の山沿いで 600mm を超えたほか、平野部でも呉（広島県呉市）で 446.5mm を観測するなど 400～500mm となったところがあった。このため、各地で土砂災害や浸水被害が発生し、広島県では土石流、がけ崩れなどにより 31 名が死亡したほか、JR 博多駅近くでは地下街に濁流が流れ込み 1 名が死亡した。

《被害状況》

福岡県における被害状況は次の通りである。

- ・人的被害

死亡 2 人	重傷者 3 人	軽傷者 3 人
--------	---------	---------
- ・住家被害

全壊 7 棟	半壊 6 棟	一部損壊 27 棟
床上浸水 1,273 棟	床下浸水 4,890 棟	
非住家被害	公共建物 3 棟	その他 43 棟
- ・その他

田流出・埋没 101ha	田冠水 2,411ha
畑流出・埋没 34ha	畑冠水 90ha
道路損壊 754 箇所	橋梁 8 箇所
崖崩れ 685 箇所	鉄道不通 2 箇所
水道（断水）1,091 戸	電気（停電）23,700 戸
農業被害 3.7 億円	林業関係被害 0.07 億円
水産関係被害 0.03 億円	

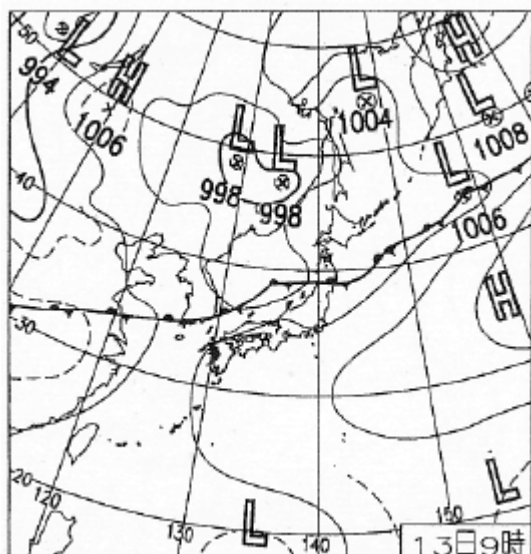
また、筑紫野市における被害状況は次の通りである。

- ・住家被害

床下浸水 23 棟

6. 平成13年7月11日～7月13日（梅雨前線による大雨）

【天気図 7月13日】



《気象概況》

この期間、梅雨前線が日本海に停滞し、西日本に暖湿な気流が流れ込んだため、12日を中心に九州北部などで大雨となった。12日の日降水量は、大牟田（福岡県大牟田市）で271mm（期間降水量391mm）、諫早（長崎県諫早市）で190mm（同293mm）などとなった。

《被害状況》

福岡県における被害状況は次の通りである。

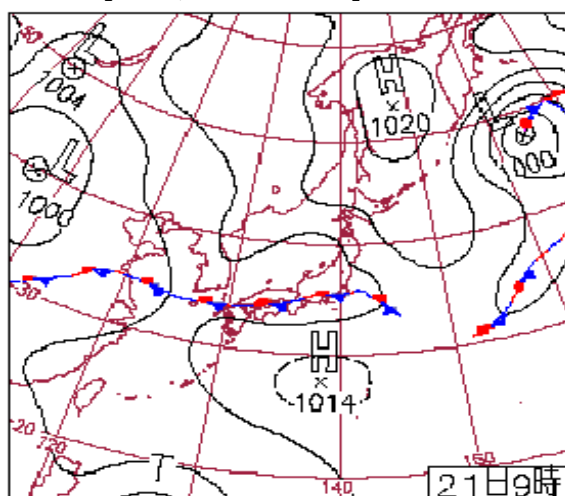
- ・ 住家被害
全壊1棟
一部損壊2棟
床上浸水61棟 床下浸水567棟
非住家被害 その他5棟
- ・ その他
田冠水864.23ha 畑冠水42.00ha
道路損壊145箇所
崖崩れ46箇所 鉄道不通1箇所
被害船舶1隻
- ・ 福岡県災害対策本部
設置 7月6日6時15分
解散 7月6日17時

また、筑紫野市における被害状況は次の通りである。

- ・ 住家被害
床下浸水2棟

7. 平成15年7月18日～7月21日（梅雨前線による大雨）

【天気図 7月21日】



《気象概況》

7月18日から21日にかけて、九州北部付近に停滞していた梅雨前線に向かって南から暖かく湿った空気が流れ込み、梅雨前線の活動が活発化した。このため、九州地方を中心に局地的に1時間に80mm以上の猛烈な雨を含む豪雨となった。この期間の総降水量は、所々で300mmを超えるなど、広い範囲で100mm以上の大雨となった。特に、福岡県の太宰府（アメダス観測所）では19日04時50分までの1時間に104mm（歴代1位）の猛烈な雨を含めて、03時以降1時間60mm以上の激しい雨が3時間続いた。また、熊本県の水俣市深川では、熊本県が設置した雨量計で、20日04時までの1時間に87mm、

05時までの1時間に91mmの猛烈な雨を観測し、05時までの3時間降水量は220mmに達した。さらに、鹿児島県の菱刈町では、鹿児島県が設置した雨量計で、20日03時から10時にかけて60mm前後の非常に激しい雨を断続的に観測し、20日の日降水量は555mmに達した。

《被害状況》

福岡県における被害状況は次の通りである。

- ・ 人的被害 死亡1人 重傷者10人 軽傷者4人
- ・ 住家被害 全壊26棟 半壊56棟
 一部損壊74棟
 床上浸水3,472棟 床下浸水3,489棟
 非住家被害 公共建物6棟 その他1,714棟
- ・ その他 田流出・埋没54.77ha 田冠水1,001.00ha
 畑流出・埋没18.00ha 畑冠水52.03ha
 道路損壊1,057箇所 橋梁15箇所
 崖崩れ1,271箇所 鉄道不通5箇所
 電話18回線
 水道（断水）9,232戸 電気（停電）627戸
 農業被害1.4億円 林業関係被害0.2億円
 水産関係被害0.03億円
- ・ 福岡県災害警戒本部 設置 7月19日5時
 解散 7月20日11時

また、筑紫野市における被害状況は次の通りである。

- ・ 住家被害 全壊3棟 半壊9棟
 床上浸水41棟 床下浸水135棟

8. 平成16年9月7日（台風第18号による強風・大雨）

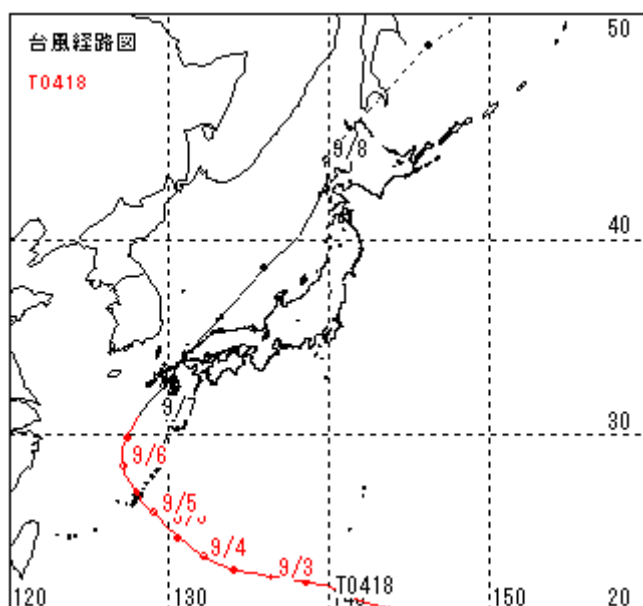
《気象概況》

8月28日09時にマーシャル諸島近海で発生した台風第18号は、日本の南海上を北西に進み、9月5日に大型で非常に強い勢力で沖縄本島北部を通過した。その後、東シナ海を北上し進路を北東に変え、7日9時半頃、長崎市付近に上陸して九州北部を横断した。7日午後には山陰沖に達し、日本海を加速しながら北東に進んだ台風は、暴風域を伴ったまま8日朝には北海道西海上を北上し、9時に温帯低気圧となった。温帯低気圧になった後発達しながら宗谷海峡に達した。

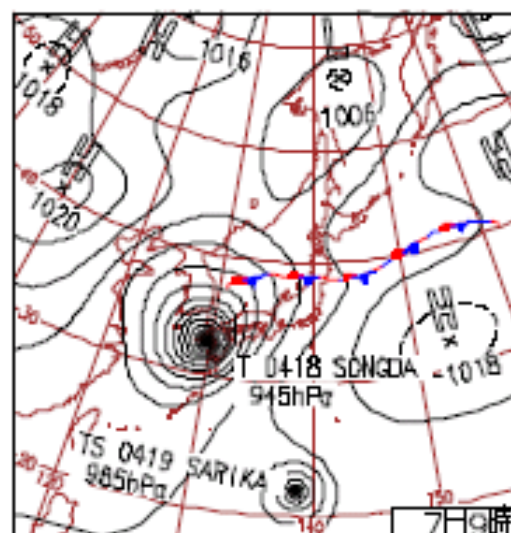
沖縄地方、九州地方、中国地方、北海道地方では、これまでの記録を更新する最大瞬間風速50m/s以上の猛烈な風を観測した。また、九州地方の一部で900mmを越える大雨を観測した所があった。さらに、瀬戸内海沿岸、西日本から北日本にかけての日本海側沿岸などで高潮となった。

この台風により、建物の損壊や倒木被害が各地で発生し、転倒や飛散物の落下により多くの人が負傷した。また、西日本で船舶の乗揚げ事故が相次いで発生した。

【経路図 台風18号9月7日】



【天気図 9月7日】



《被害状況》

福岡県における被害状況は次の通りである。

- | | | |
|--------|--------------|----------|
| ・ 人的被害 | 重傷者 19 人 | 軽傷者 75 人 |
| ・ 住家被害 | 全壊 8 棟 | 半壊 105 棟 |
| | 一部損壊 5,604 棟 | 床上浸水 1 棟 |
| | 床下浸水 50 棟 | |
| | 非住家被害 | |

また、筑紫野市における被害状況は次の通りである。

- | | |
|--------|-----------|
| ・ 住家被害 | 一部損壊 13 棟 |
|--------|-----------|

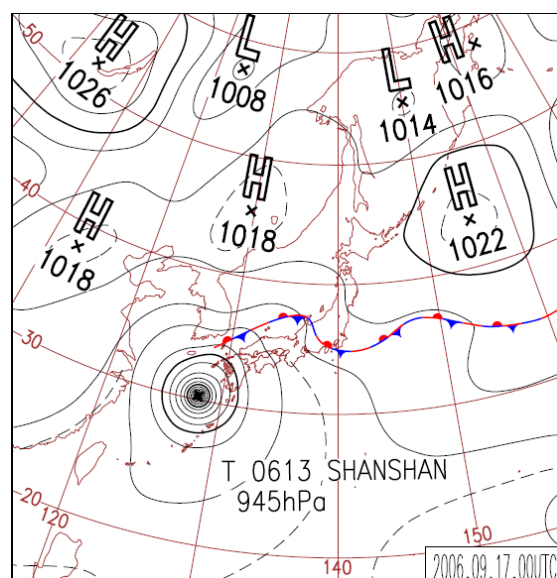
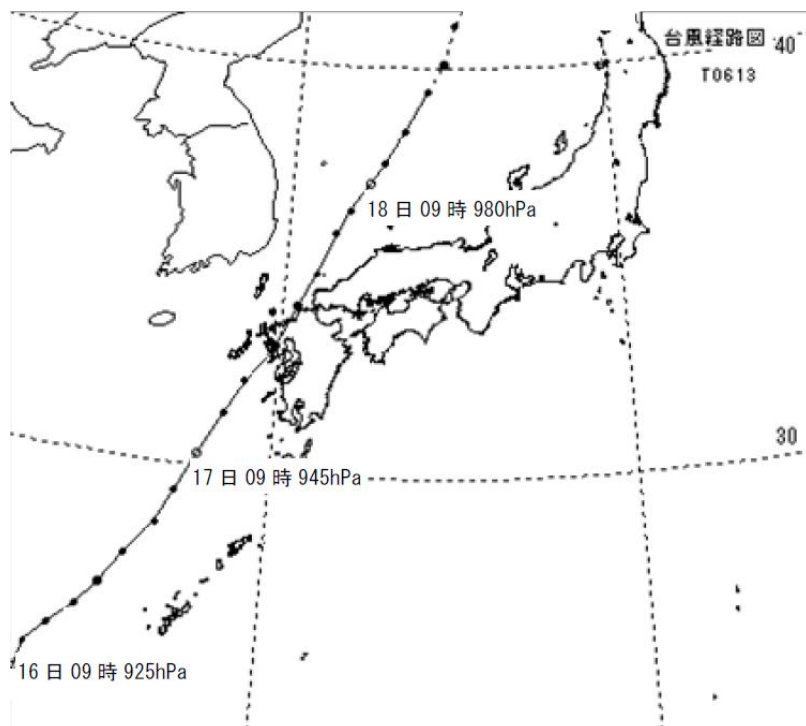
9. 平成 18 年 9 月 17 日 (台風第 13 号による強風、大雨)

《気象概況》

台風第 13 号は、東シナ海を北東へ進み、強い勢力を保ったまま 17 日 18 時過ぎ、長崎県佐世保市付近に上陸した。その後、佐賀県、福岡県を通過して 17 日 20 時頃玄界灘へ抜け、18 日 21 時に日本海で温帯低気圧に変わった。台風の通過に伴い福岡では、9 月としては観測開始以来第 1 位（通年では、観測開始以来第 2 位）となる南の風 49.0m/s（17 日 19 時 38 分）、飯塚では南南東の風 40.0m/s（17 日 20 時 04 分）の最大瞬間風速を観測した。2 日間の総降水量の多い地点は、前原 140mm、福岡 86mm、篠栗 76mm、八幡 75mm などであった。

【経路図 台風 13 号 9 月 17 日～9 月 18 日】

【天気図 9 月 17 日～9 月 18 日】



《被害状況》

福岡県における被害状況は次の通りである。

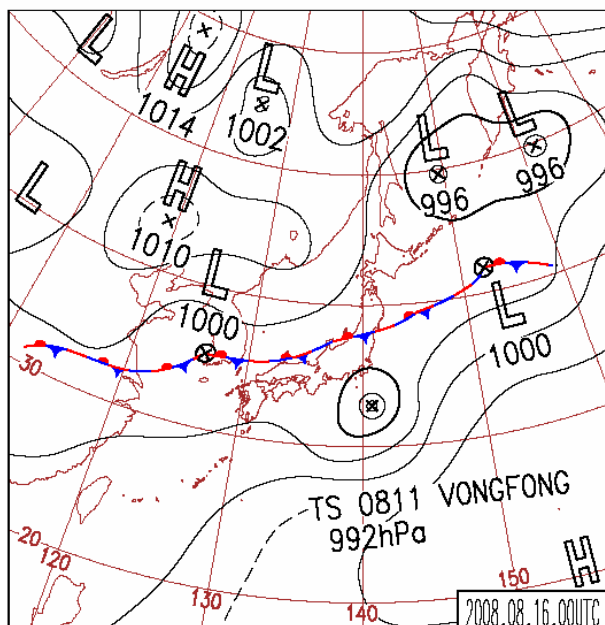
・人的被害	死者1名	重傷者2名	軽傷者69名
・住家被害	全壊2棟	半壊18棟	
	一部損壊1,658棟	床下浸水5棟	

また、筑紫野市における被害状況は次の通りである。

・人的被害	軽傷者 1 名
・住家被害	一部損壊 10 棟

10. 平成20年8月4日 (大雨)

【天気図 8月16日】



《気象概況》

4日は対馬海峡付近に停滞する前線の影響で、大雨となる場所があった。8～11日は湿った空気と強い日射の影響で大気の状態が不安定となり、県内各地で雷を伴った雨となった。13日は日本海の低気圧の影響で県の北部を中心に雨となった。15～17日にかけては、熱帯低気圧や前線の影響で大気の状態が不安定となり、県内各地で雷を伴った雨となった。14日間の総降水量の多い地点は、博多 342.5mm、太宰府 329.5mm、九千部山 319.5mm、福岡 289.5mm、添田 227.0mm などであった。

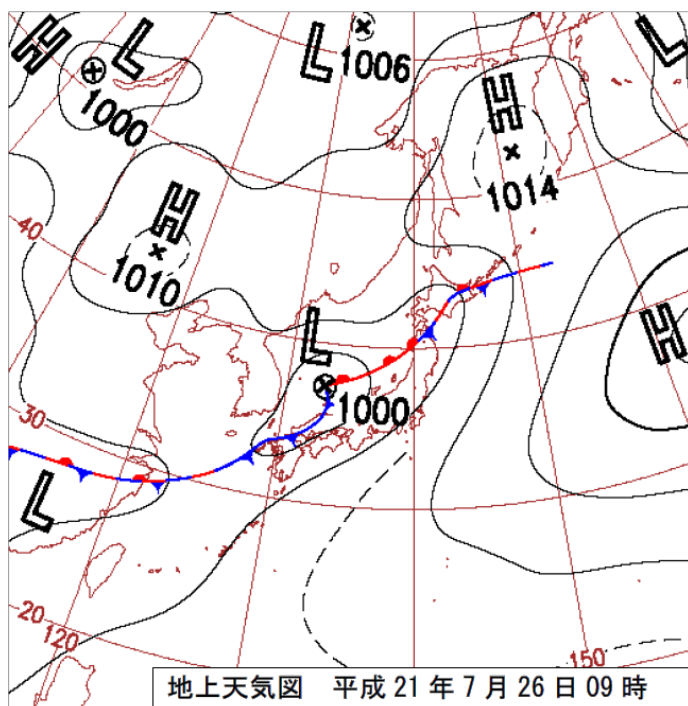
《被害状況》

福岡県における被害状況は次の通りである。

- ・住家被害 床上浸水10棟 床下浸水18棟
- ・その他 道路被害 50箇所 河川被害 5箇所
- 崖崩れ 3箇所

11. 平成21年7月24日～8月6日 (豪雨)

【天気図 7月26日】



《気象概況》

24日は、対馬海峡に停滞する梅雨前線に向かって、暖かく湿った空気が流れ込み、前線の活動が非常に活発化した。25日には、梅雨前線の活動がやや弱まったが、26日には九州北部地方に停滞する前線上に低気圧が発生し、再び活動が活発化した。福岡県では、24日の夕方から夜のはじめ頃を中心に大雨となり、19時25分までの1時間に博多（福岡空港）で116.0ミリの記録的な雨が降るなど、19時頃から21時頃にかけて福岡地方、筑豊地方の各地で1時間110ミリ以上の記録的短時間大雨が発生した。また、17時から21時までの4時間に飯塚で243.5ミリ、小倉南区頂吉で

地上天気図 平成21年7月26日09時

〈第1章 第5節 災害の想定〉

220.0 ミリ、篠栗で 213.5 ミリ、博多（福岡空港）で 205.0 ミリなど、200 ミリを超える大雨となった。25 日の昼前には一旦雨も弱まったが、26 日朝から昼過ぎにかけて再び非常に激しい雨が降り、1 時間に 80 ミリを超える猛烈な雨となった所もあった。24 日から 26 日までの総雨量は、太宰府で 618.0 ミリ、飯塚で 568.0 ミリ、那珂川町九千部山で 562.0 ミリ、篠栗で 517.5 ミリ、博多（福岡空港）で 517.0 ミリとなっており、7 月の平年の月降水量の 2 倍近く降った所もあった。

《被害状況》

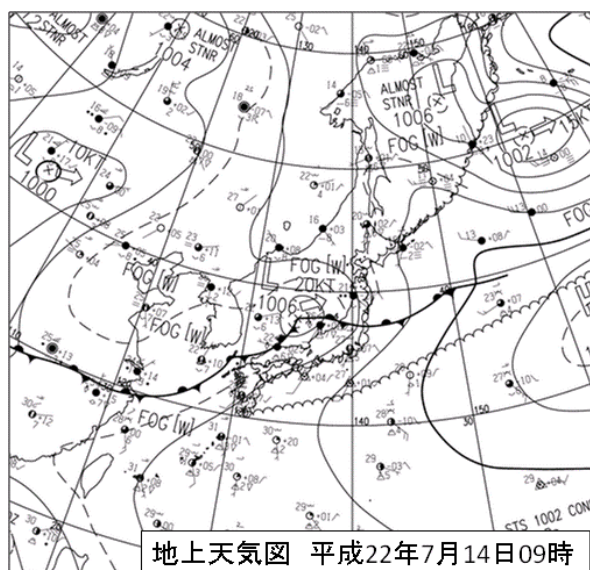
福岡県における被害状況は次の通りである。

・ 人的被害	死者10名	重傷者9名	軽傷者9名
・ 住家被害	全壊13棟	半壊11棟	
	一部損壊70棟	床上浸水1,319棟	
	床下浸水4,157棟		
・ その他	道路被害 2,155 箇所	河川被害 721 箇所	
	崖崩れ 1,355 箇所		

また、筑紫野市における被害状況は次の通りである。

・ 人的被害	死者1名	重傷者2名
・ 住家被害	全壊1棟	半壊1棟
	一部損壊3棟	床上浸水37棟
	床下浸水57棟	

12. 平成 22 年 7 月 11 日～7 月 16 日（大雨）



《気象概況》

11 日に朝鮮半島南岸にあった梅雨前線は、その後、15 日にかけて九州北部から対馬海峡付近に停滞した。この梅雨前線に向かって、南から湿った気流が流れこむ状態が続いたため、県内各地で断続的に激しい雨を観測し、特に 14 日明け方から朝にかけては非常に激しい雨となったところがあった。11 日 17 時から 16 日 06 時までの降水量は 206.5mm～523.0mm となり、13 日に行橋では 208.5mm の日降水量を観測し 7 月の極値を更新した。

《被害状況》

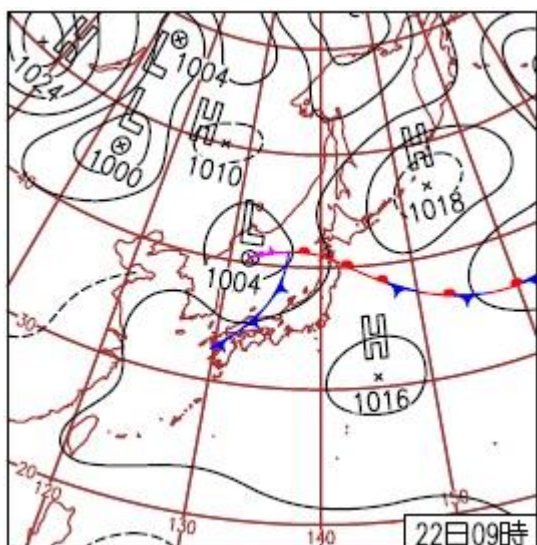
福岡県における被害状況は次の通りである。

- | | | |
|--------|--------------|------------|
| ・ 人的被害 | 軽傷者2名 | |
| ・ 住家被害 | 全壊5棟 | 半壊7棟 |
| | 一部損壊734棟 | 床上浸水211棟 |
| | 床下浸水811棟 | |
| ・ その他 | 田流出・埋没 84ha | 田冠水 344ha |
| | 畑流出・埋没 1.6ha | 畑冠水 305ha |
| | 道路被害 1,823箇所 | 河川被害 606箇所 |
| | 崖崩れ 691箇所 | |

また、筑紫野市における被害状況は次の通りである。

- | | | |
|--------|-----------|-----------|
| ・ 住家被害 | 一部損壊1棟 | 床上浸水1棟 |
| | 床下浸水20棟 | |
| ・ その他 | 道路被害 47箇所 | 河川被害 57箇所 |
| | 崖崩れ 102箇所 | |

1.3. 平成26年8月21日～8月22日 (大雨)



《気象概況》

福岡県では、太平洋高気圧の周辺部にあたり南から暖かく湿った空気が流入しているなか、8月22日未明から朝にかけて日本海から対馬海峡にのびる寒冷前線がゆっくり南下し、前線付近で大気の状態が非常に不安定となり、発達した雨雲により局地的に猛烈な雨が降った。太宰府（太宰府市）では、期間降水量は168.0ミリで、最大1時間降水量と最大3時間降水量の8月の極値を更新した。

また、解析雨量では22日04時30分までの1時間に筑紫野市付近、太宰府市付近、那珂川町付近で約110ミリの猛烈な雨となり、記録的短時間大雨情報を発表した。

《被害状況》

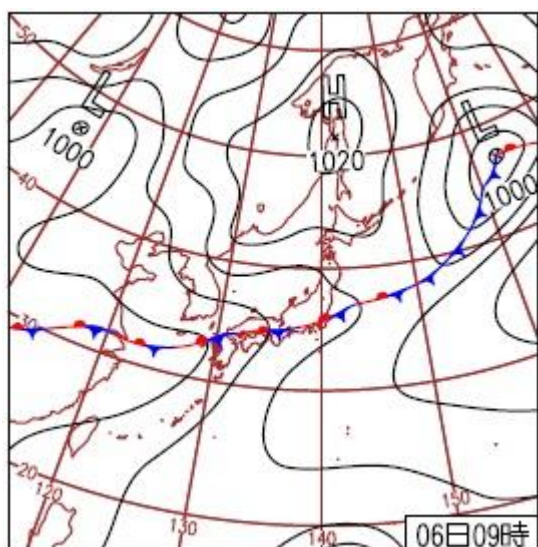
福岡県における被害状況は次の通りである。

- | | | |
|-------|----------|---------|
| ・人的被害 | 死者1名 | |
| ・住家被害 | 一部損壊1棟 | 床上浸水12棟 |
| | 床下浸水8棟 | |
| ・その他 | 道路被害35箇所 | 崖崩れ29箇所 |

また、筑紫野市における被害状況は次の通りである。

- | | | |
|-------|----------|----------|
| ・住家被害 | 床上浸水36棟 | 床下浸水60棟 |
| ・その他 | 道路被害20箇所 | 河川災害19箇所 |
| | 崖崩れ50箇所 | |

1.4. 平成30年7月5日～7月8日 (豪雨)



《気象概況》

東シナ海から対馬海峡を通過し日本化に進んだ台風第7号の影響で、九州付近には7月4日から暖かく湿った空気が流入していた。

梅雨前線は、5日から6日にかけて九州北部地方に停滞し、7日夜に一旦九州南部まで南下したあと、8日夜には対馬海峡まで北上した。この間、梅雨前線の南側では、南から暖かく湿った空気が流入して長時間にわたり大気の状態が非常に不安定となり記録的な大雨となった。

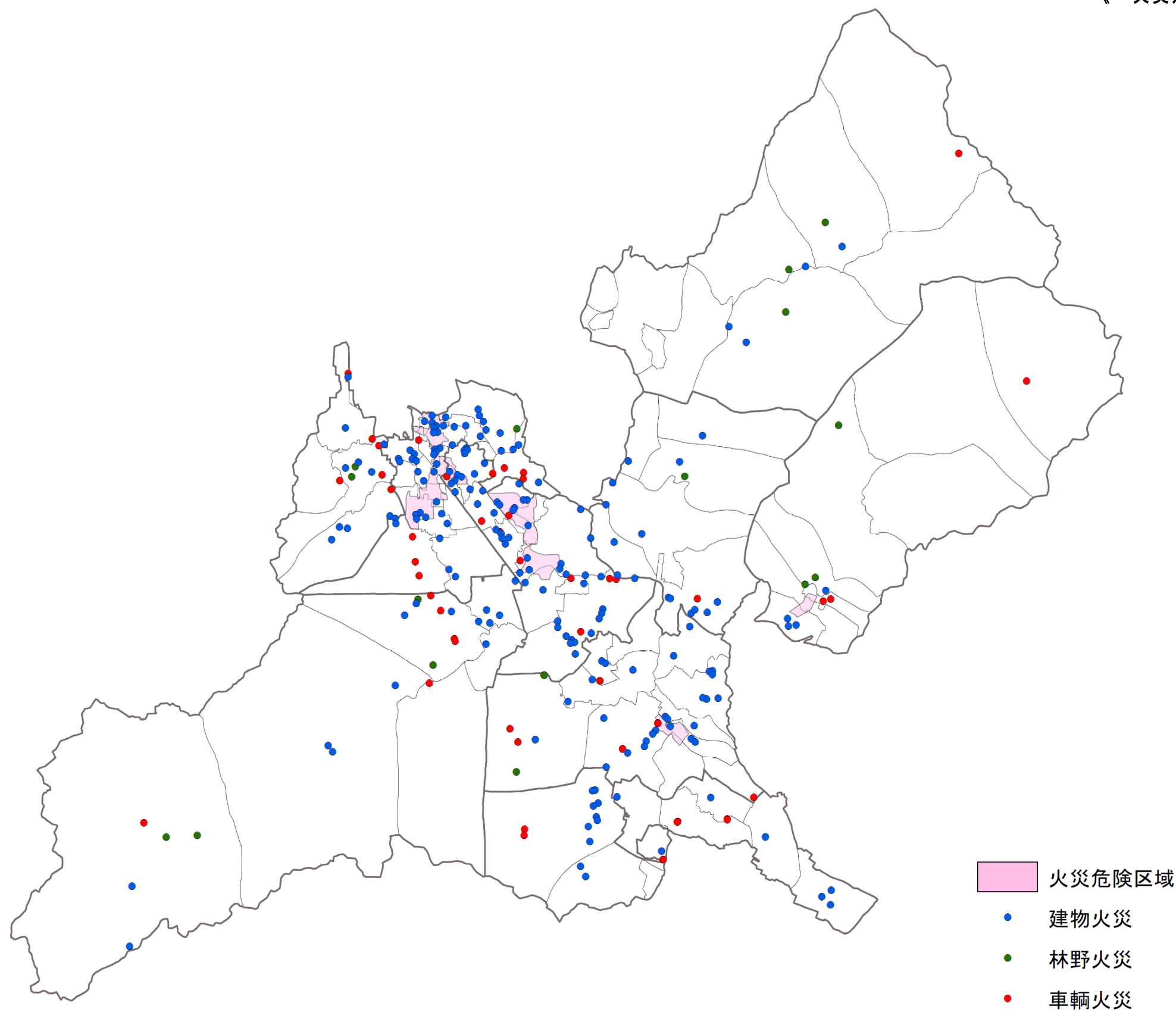
《被害状況》

福岡県における被害状況は次の通りである。

- ・ 人的被害 死者 3 名
 重症者 8 名
 軽傷者 7 名
- ・ 住家被害 全壊 15 棟 半壊 222 棟
 一部損壊 164 棟 床上浸水 952 棟
 床下浸水 2294 棟
- ・ その他 道路被害 437 箇所 河川被害 278 箇所
 崖崩れ 1113 箇所

また、筑紫野市における被害状況は次の通りである。

- ・ 人的被害 死者 1 名
- ・ 住家被害 半壊 2 棟 床上浸水 24 棟
 床下浸水 47 棟
- ・ その他 道路被害 114 箇所 河川災害 100 箇所
 崖崩れ 294 箇所



《想定地震（震源）》 資料 1.5.3

想定地震の設定は、福岡県の実施した「地震に関する防災アセスメント調査報告書（平成18年12月）」に基づき、地震及び被害の設定を行うものとする。以下に想定地震の概要を示す。

1. 想定地震などのモデル（ケース）の考え方（福岡県）

想定地震の設定方法としては、県内の地震の履歴や微小地震活動の観測データに基づき、発生頻度の高い震源域とその規模・タイプ等を把握し、「想定地震モデル」を設定するのが一般的である。

これまで活動していない活断層や周辺海域のプレートについて、どこで、いつ、どのような規模で動いて地震を生じさせるかを特定することは目下の段階では困難である。

そこで、過去の地震災害履歴や地震活動観測データを踏まえ、県の防災対策上想定すべき複数の地震のモデルを設定し、これらの地震による地震動や各種被害量を算出し、その結果を福岡県地域防災計画「震災対策編」の目標とする。

2. 活断層に着目する想定地震モデルの設定

これまでに福岡県内に災害を及ぼした、679年の筑紫の地震と1898年の糸島半島の地震は、いずれも内陸部に発生した地震であり、太平洋側の海溝部で発生する地震と違ってその周期性は明らかではない。一般に兵庫県南部地震の例にも見られるように、内陸の活断層を震源として発生する地震は、発生頻度が非常に小さく、海洋型の地震と違って発生間隔を推定することは困難である。しかしながら、万一地震が発生した場合の被害は、局地的には非常に大きなものになることが想定される。

そこで本調査では、県内に存在する以下の6つの活断層に着目し、想定地震を設定する。

1. 小倉東断層
2. 福智山断層
3. 西山断層
4. 警固断層
5. 水縄断層
6. 宇美断層

なお、想定地震については、地震規模を見直し、各断層から想定される規模（マグニチュード）を設定した。

また、このうち警固断層については、福岡県西方沖地震の発生に伴い切迫性が高まっていると考えられることから、想定地震動を見直すのが、その他の想定地震についてはそのような事象は考えられていないため、前回アセスメント調査と同様の手法によりモデルを想定した。

また、特に人口が集中している県内4主要都市（福岡市、北九州市、飯塚市、久留米市）を中心とする地域に被害を及ぼすと判断される4断層（小倉東断層、西山断層、警固断層、水縄断層）については、地震発生に伴う被害を想定する必要があると判断される。

① 警固断層南東部

警固断層については、人口の集中する福岡市の中心部を通っている断層であり、一度活動すれば多大な被害の発生が予想される。平成19年3月に文部科学省地震調査研究推進本部により警固断層の長期評価が公表されており、この長期評価を踏まえ、想定地震を以下のように設定した。

想定地震モデルは福岡県西方沖地震の震源より南東部の、福岡市（博多湾）から筑紫野市付近にかけての部分とし、断層の長さ27 km以上に対して震源断層の長さ27

km、震源断層の幅 15km（上端の深さ 2km、下端の深さ 17 km）地震の規模マグニチュード 7.2 と想定した。

なお、前回アセスメント調査では、警固断層に関する震源断層は北西部であり、福岡市から筑紫野市方面にかけての断層の長さ 20km のうち震源断層の長さ 20km、震源断層の幅 13km（上端の深さ 3km、下端の深さ 16km）、地震の規模マグニチュード 7.0 と 7.2 のケースを想定している。

② その他の5断層

前回アセスメント調査では、それぞれの断層が存在する地域において、マグニチュード6クラスの規模の地震が生じたことを想定して被害を把握できるようにするものであり、震源断層の長さ 10km、震源断層の幅 5 km（上端の深さ 5 km、下端の深さ 10km）、地震の規模マグニチュード 6.5 を想定していたが、今回の見直しでは以下のとおりそれぞれの断層ごとに詳細な検討を行っている。

・小倉東断層北東部

北九州市小倉北区から小倉南区付近にかけての断層の長さ約 17km のうち、震源断層の長さ 17km、震源断層の幅 8.5km（上端の深さ 2km、下端の深さ 10.5km）、地震の規模マグニチュード 6.9 を想定した。

・福智山断層北西部

北九州市八幡西区から福智町付近にかけての断層の長さ約 20km のうち、震源断層の長さ 20km、震源断層の幅 10km（上端の深さ 2km、下端の深さ 12km）、地震の規模マグニチュード 7.0 を想定した。

・西山断層南東部

宮若市から飯塚市付近にかけての断層の長さ約 31km のうち、震源断層の長さ 31km、震源断層の幅 15km（上端の深さ 2km、下端の深さ 17km）、地震の規模マグニチュード 7.3 を想定した。

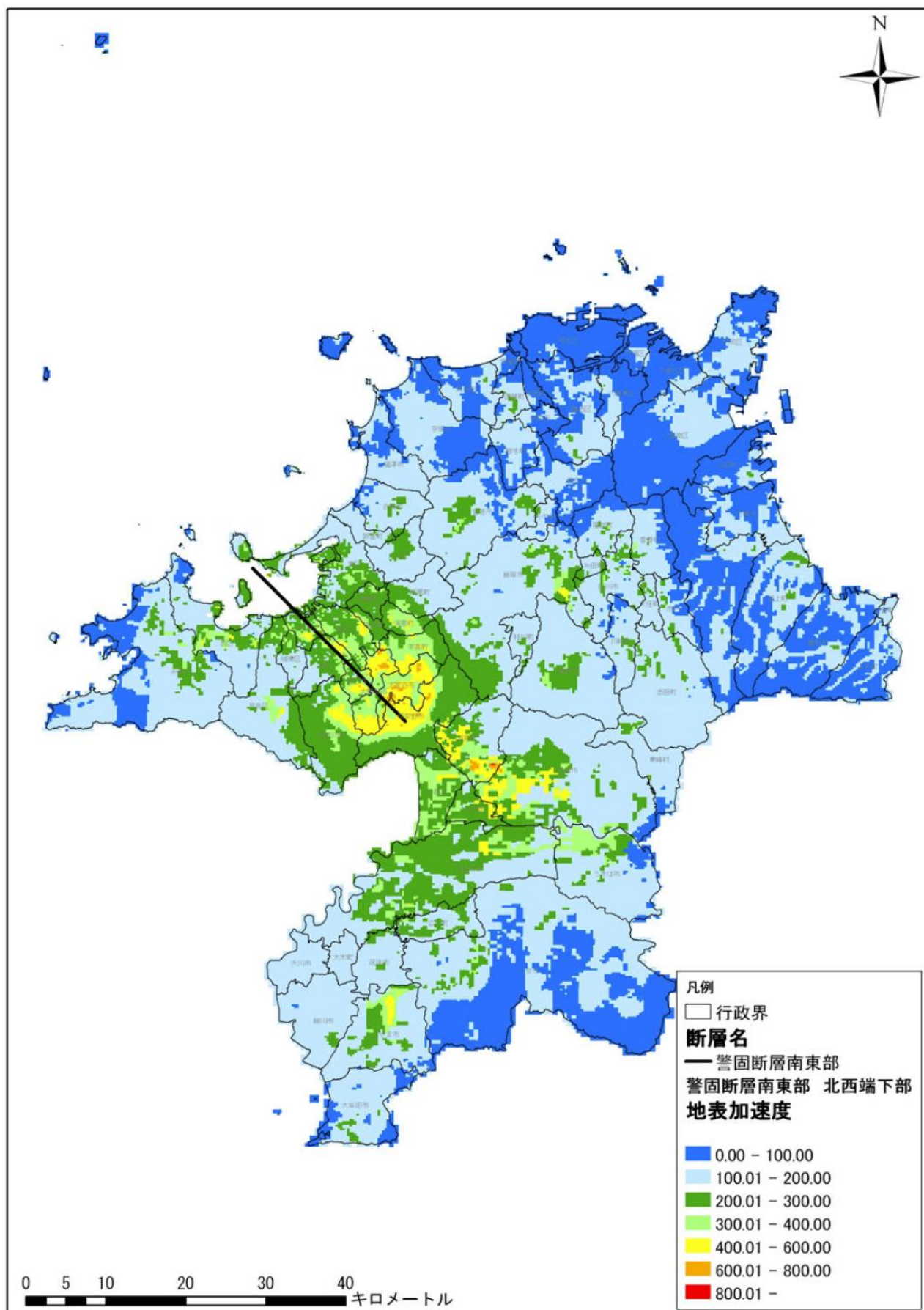
・水縄断層西部

久留米市付近の断層の長さ約 26km のうち、震源断層の長さ 26km、震源断層の幅 15km（上端の深さ 2km、下端の深さ 17km）、地震の規模マグニチュード 7.2 を想定した。

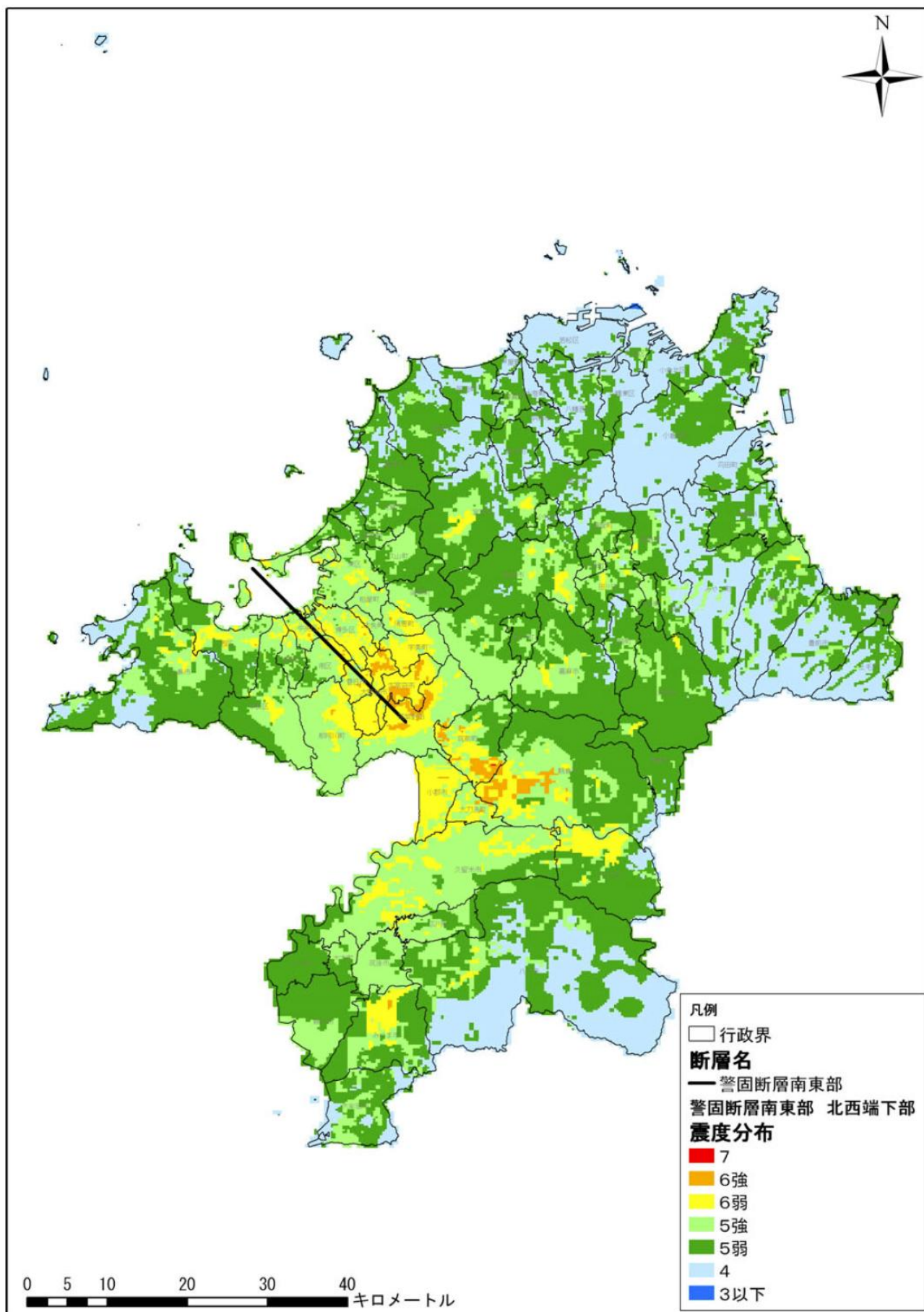
・宇美断層南東部

福岡市から太宰府市付近にかけて断層の長さ約 18km のうち、震源断層の長さ 18km、震源断層の幅 9km（上端の深さ 2km、下端の深さ 11km）、地震の規模マグニチュード 6.9 を想定した。

《被害想定結果図》
【地表加速度分布図】 資料 1.5.4(1)

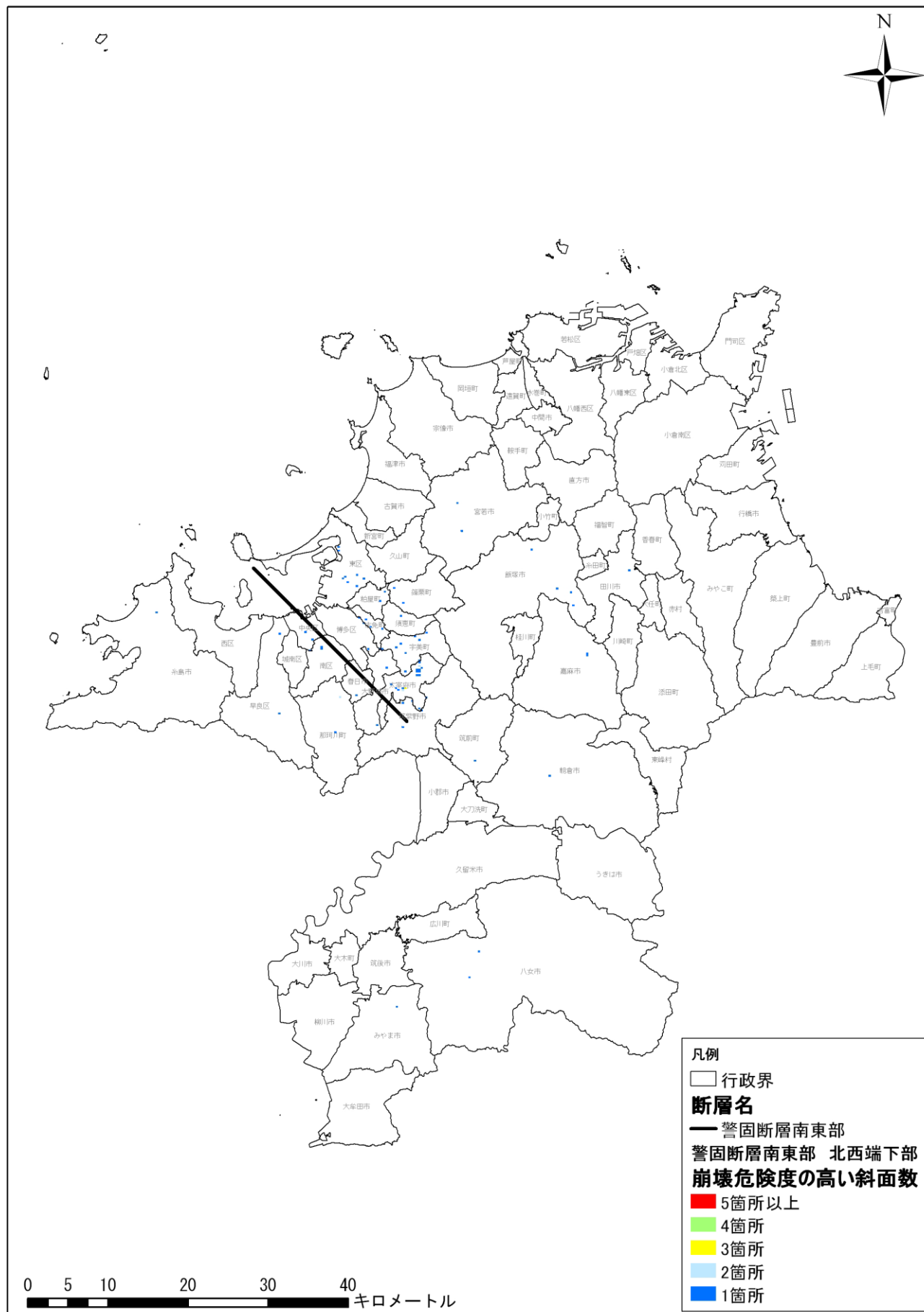


【震度分布図】 資料 1.5.4(2)

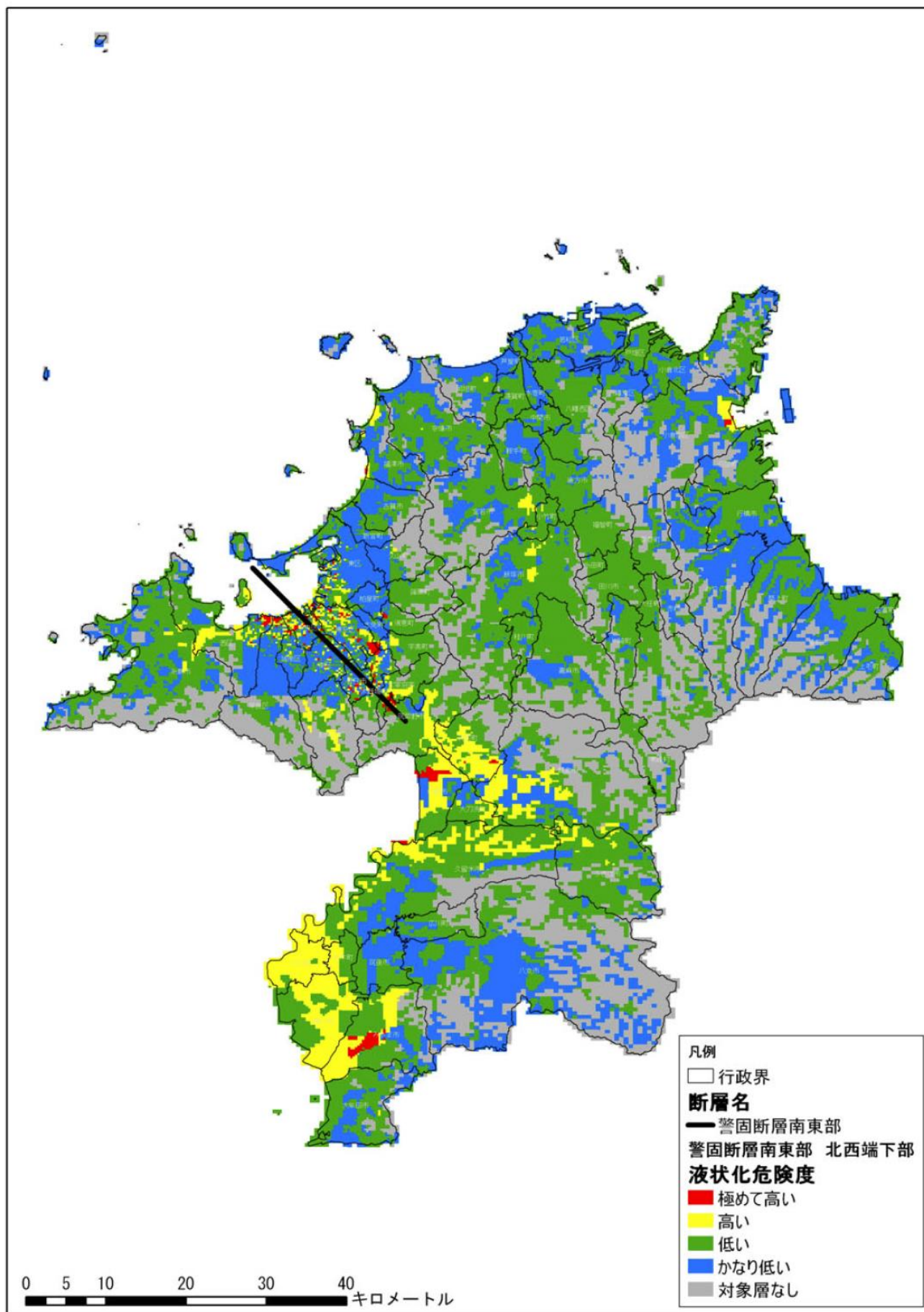


【崩壊危険度の高い斜面分布図】

資料 1.5.4(3)

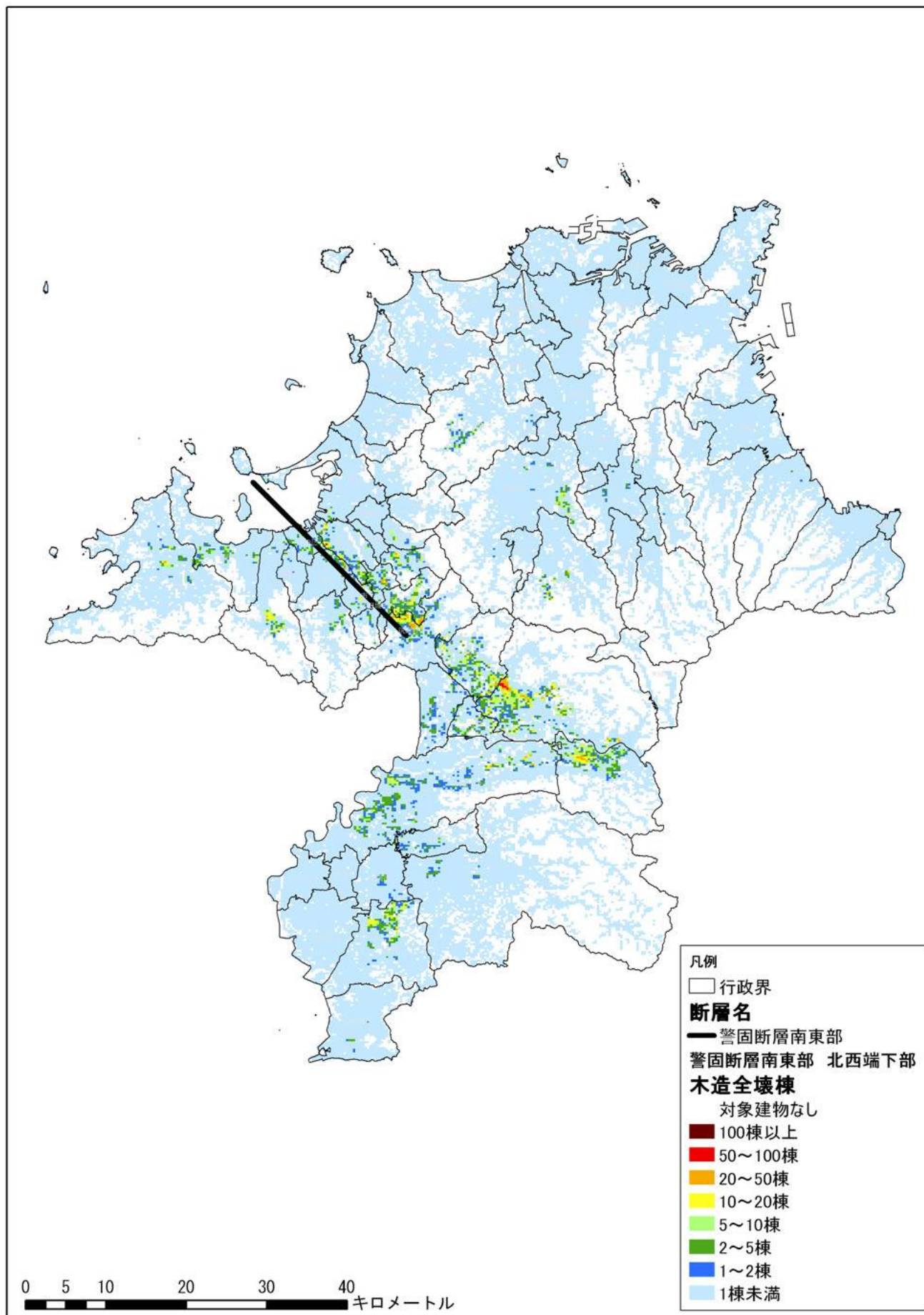


【液状化危険度分布図】 資料 1.5.4(4)



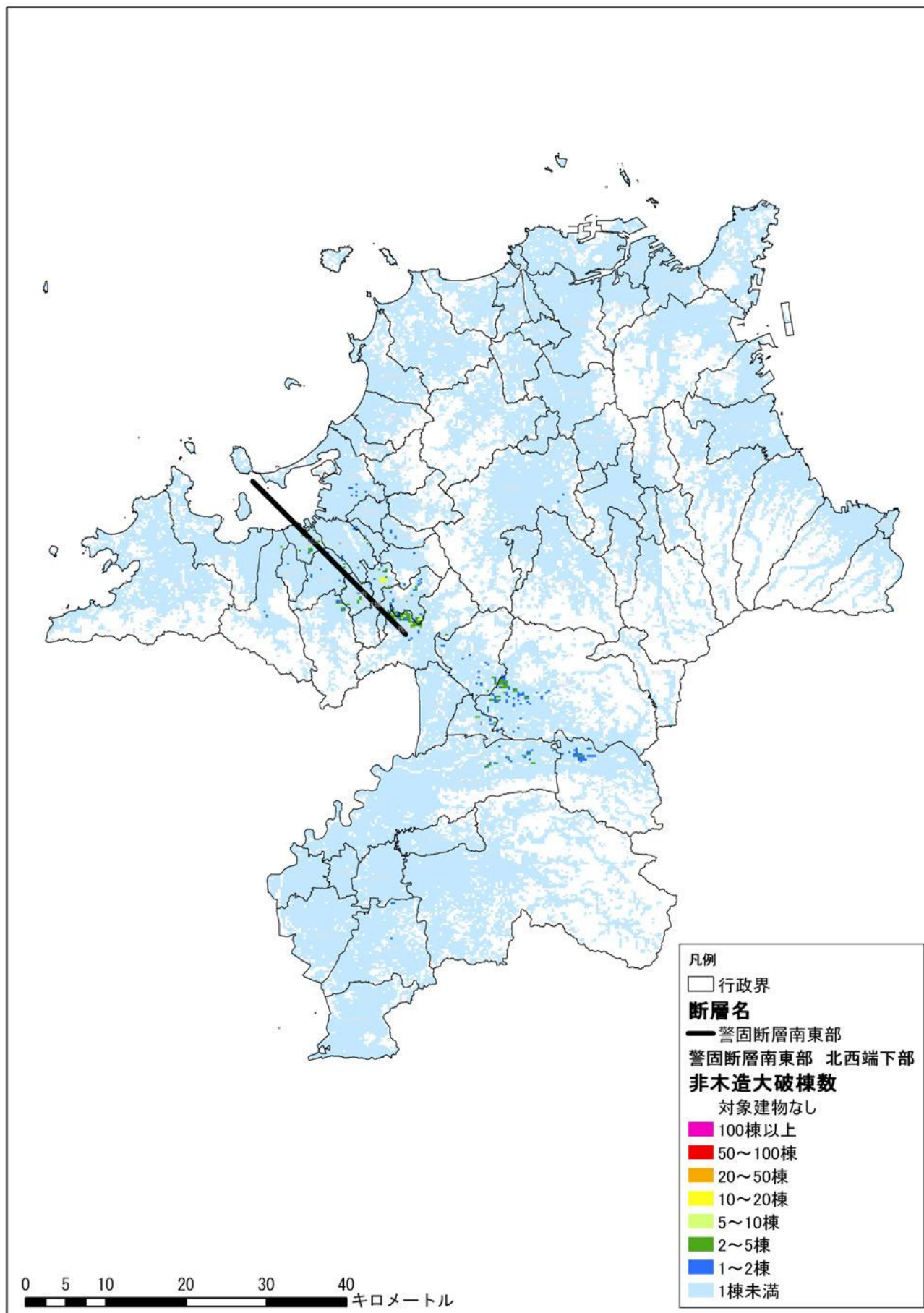
【木造建物全壊棟数分布図】

資料 1.5.4(5)



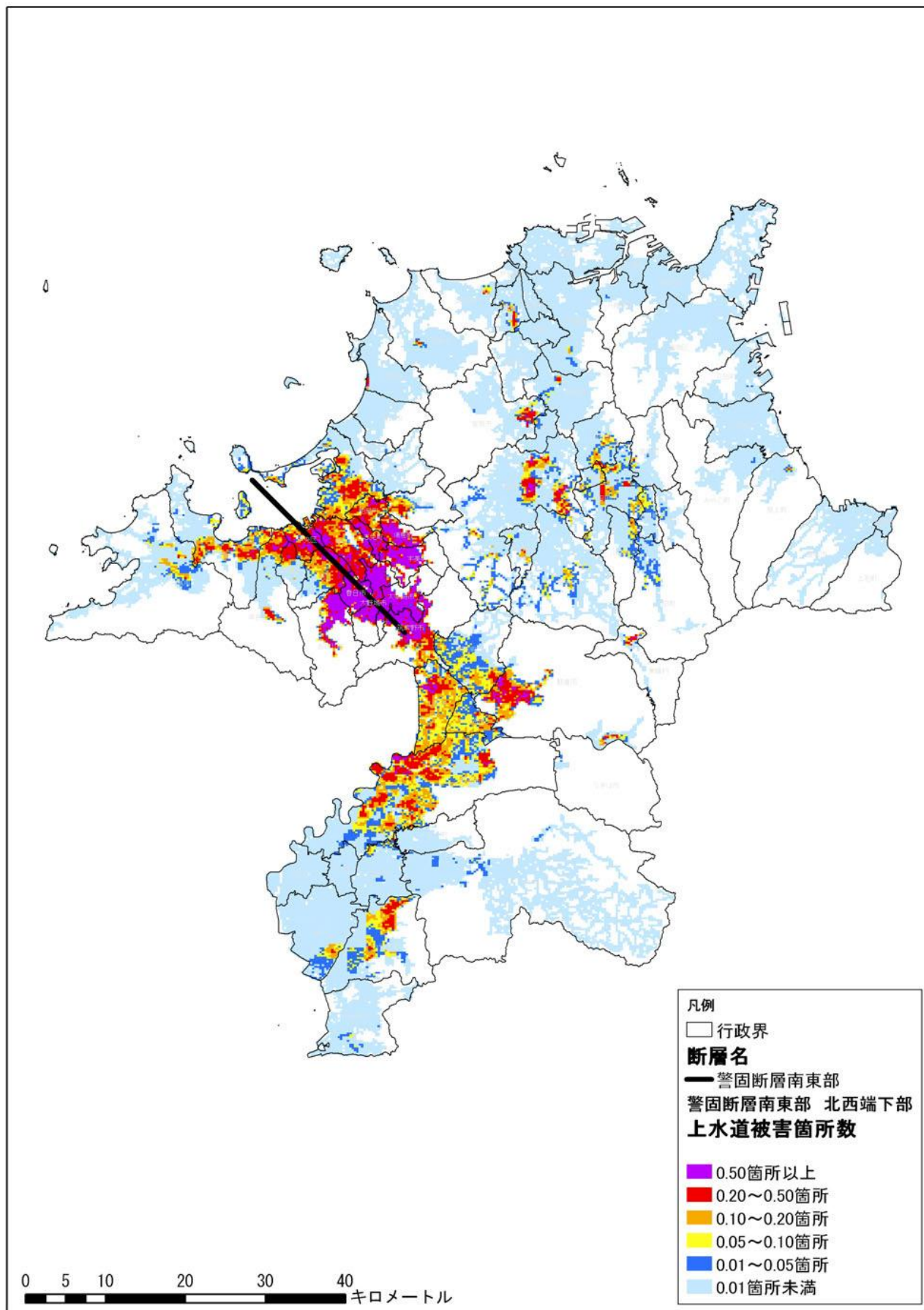
【非木造建物全壊棟数分布図】

資料 1.5.4(6)



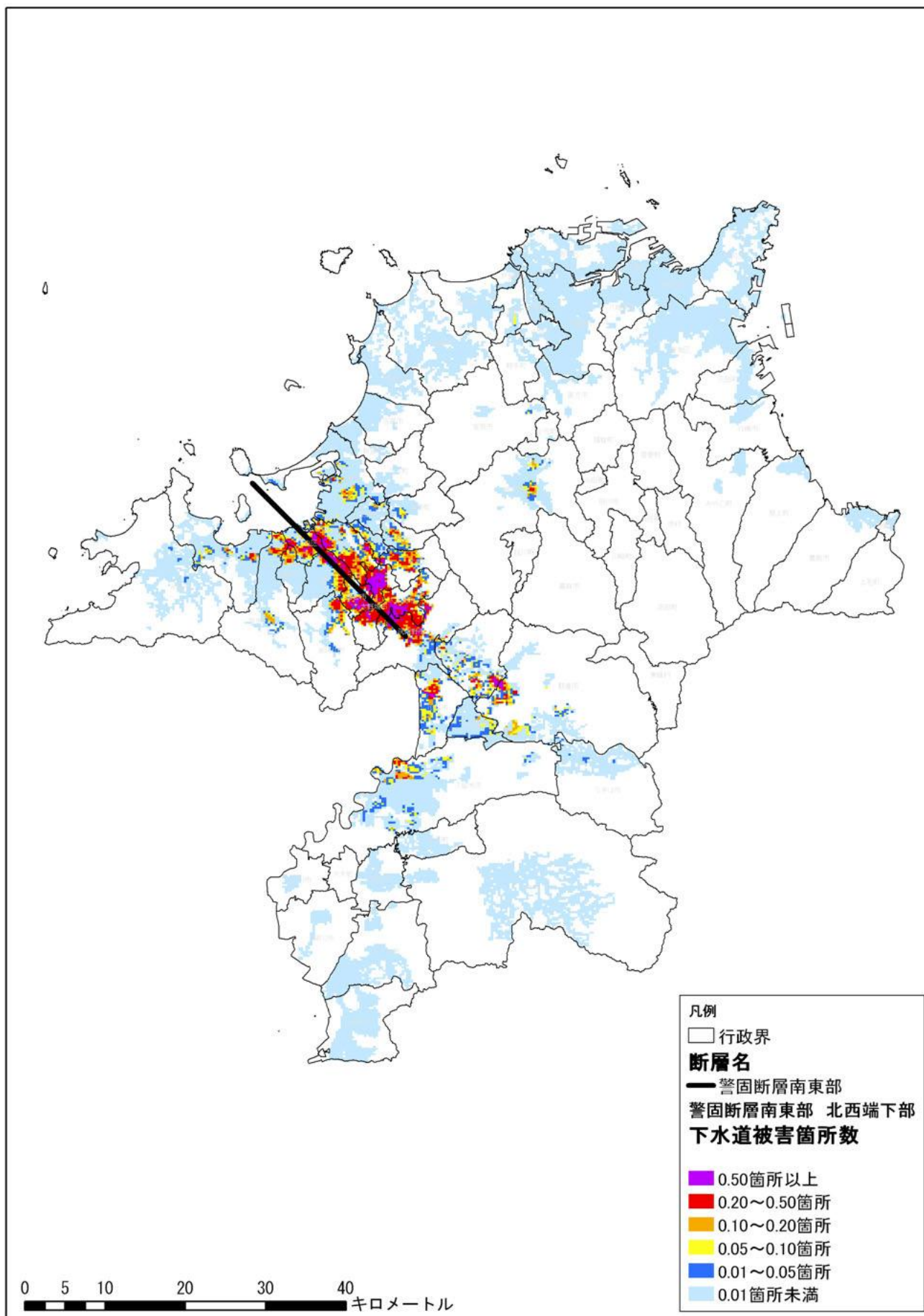
【上水道被害箇所数分布図】

資料 1.5.4(7)



【下水道被害箇所数分布図】

資料 1.5.4(8)



《 被害想定結果 》 資料 1.5.5

1) 筑紫野市に及ぼす想定地震の震度

	想定地震	震源	最大震度
1	小倉東断層北東部	M6.9	5弱
2	福智山断層北西部	M7.0	5強
3	西山断層全体 M8.0	M8.0	6弱
	西山断層南東部 M7.3	M7.3	6弱
4	警固断層南東部 M7.2	M7.2	6強
	警固断層北西部 M7.0	M7.0	5弱
5	水縄断層西部	M7.2	6弱
6	宇美断層南東部	M6.9	6強

2) 筑紫野市における人的・施設等被害（本文再掲）

被害想定項目		警固断層南東部地震 M 7.2
1	死者数	105
2	負傷者数	1,616
3	要救出現場（箇所）数	601
4	要救出者数	678
5	要後方医療搬出者数	162
6	避難者数	3,897
7	斜面崩壊危険度(A)箇所数	5
8	斜面崩壊被災建物棟数	22
9	建物全壊棟数	1,503
	（木造全壊棟数）	（1,287）
	（非木造全壊棟数）	（216）
10	建物半壊棟数	1,200
	（木造半壊棟数）	（864）
	（非木造半壊棟数）	（336）
11	地震火災全出火棟数	9
12	地震火災焼失棟数	0.0
13	上水道管被害箇所数	209
14	下水道管被害箇所数	72
15	都市ガス管被害箇所数	37
16	電柱被害本数	18
17	電話柱被害本数	17
18	生活支障世帯数	
	居住の制約	39,842
	食料・飲料水	40,176
	電気	8,276
	情報通信回線（NTT）	534
19	エレベータ閉じ込め者数	639